

平成 29 年度号 No.37 平成 29. 6. 10 発行  
〒275-8511 千葉県習志野市泉町 2-1-37  
東邦大学付属東邦中学校・高等学校同窓会  
TEL/FAX 047-472-1160  
URL <http://www.shiseinin.org/>  
E-mail [shiseinin@yahoo.co.jp](mailto:shiseinin@yahoo.co.jp)

## 目 次

- 同窓会総会開催案内…………… 1
- 会長あいさつ…………… 2
- 学校法人理事長あいさつ…………… 3
- 学校長あいさつ…………… 4
- 同窓会のこの1年…………… 6
- トピックス&インフォメーションズ… 11
- 特別寄稿…………… 12
- 同窓生のページ…………… 16
- 学校の近況…………… 21
- 平成 29 年度入試報告 …… 30
- 新入会員を迎えて…………… 32



題字：創立者 額田 晋先生 書

## 同窓会総会開催案内

日 時 平成二十九年七月九日（日）

受付開始 十四時半

総会開始 十五時

（会場 ルーナ）

懇親会スタート 十六時

（会場 プリマベラ）

会 場 ホテル「ザ・マンハッタン」  
幕張新都心

議 案 ・平成二十八年年度事業報告

・平成二十八年度会計報告

・平成二十九年年度事業計画案

・平成二十九年年度予算案

・その他

学校の近況報告

・東邦中学・高等学校入学をとりまく状況

・大学進学状況に関して

・その他

※先生方からご説明を頂きます。

懇親会 総会終了後、懇親会を行います。

会費は、正会員五千円とし平成二十九年

三月卒業の新会員はご招待とさせて頂きま

す。高校卒業4年目までの会員は会費を千

円とさせて頂きます。

なお、会場内での喫煙、未成年者の飲酒

はできません。

☆出欠のハガキは七月七日（金）必着。

FAXでの回答はご遠慮下さい。

☆電話 ○四七四七二一六〇

同窓会創立60周年記念事業で母校への校章銘板寄贈

および定例総会特別開催企画について

東邦中・高等学校同窓会「自生人」会長 鮎川 二郎（七期卒・千葉商科大学名誉教授）



一. はじめに

母校は昭和二十七年に、中学は昭和三十七年にそれぞれ創設され、昭和三十年には高校第一期卒業生を世に送り出しています。以来、平成二十九年には東邦中学校が創立五十五年、東邦高等学校が創立六十五年を迎えました。そして本年は第六十期生が卒業し、同窓会員総数が二万二千二百六十五名となりました。

多くの会員の皆様におかれましては全国各地の様々な分野においてご健勝にてご活躍のことと心からお慶び申し上げます。

二. 同窓会創立六十周年記念事業で銘板校章を寄贈

本同窓会は、一九五五年（昭和三十年）の第一期卒業生の年に発足し、二〇一六年（平成二十八年年度）に創立六十周年を迎えました。同窓会執行部では全同窓会員の祝意を表する記念事業として、母校に未永く残る記念品を贈呈することを検討して参りましたが、「校章の桜花銘板を本館正面に設置する」ということで意見がまとまりました。

校章の桜花五弁の意味は、建学の精神「自然・生命・人間」（東邦大学創立者額田督 1975 年著）の復刻本（二〇〇二年 P. 七十六～P. 七十八）でも謳われている「人類に共通な理想とは「真・

知・善・愛・美」の五つで、この五つの理想に向かつて努力するのが人間の特徴であり、その尊い所以なのである」を象徴し、次代を担う若者の心の向上と情操教育の重要性を表しています。

銘板校章の設置工事は、昨年十月八日に本館エントランスに着装完了いたしました。そして翌週の十月二十二日には、東邦大学炭山嘉伸理事長をはじめ法人執行部の皆様にご披露と記念撮影を行うことができました。皆様方には当日、習志野キャンパスで執り行われた健康科学部竣工式前の貴重な時間を割いてご来校いただきまして、このことを改めて心より感謝申し上げます。

母校のシンボルである校章銘板が多くの人の目に映るたびに、未永く母校発展の足跡が刻まれることを改めてご祈念申し上げます。

三. 定例総会での特別企画の開催に向けて

来る七月九日（日）には、千葉市募張のホテルマンハッタンで定例総会および懇親会を特別企画で開催いたします。当日は、御来賓として、学校法人東邦大学理事長炭山嘉伸先生をはじめ法人関係者、松本校長他教員関係者、卒業生教員、習志会役員の方々をお招きする予定です。

特に今年度定例総会の特別企画として、会員相互のより一層の交流を深めていただくために各年度の卒業同期会を同時合同で開催することに致しました。

つきましては、各卒業年度の同期会の合同開催をご希望される場合には、締め切り期日まで事務局にお申し込みくださるようお願いいたします。参加費用につきましては、事業予算よ



左より、佐藤常務、渡邊同窓会副会長、鮎川同窓会会長、炭山理事長、松本校長、所常務、中村事務局長、杉本総務部長

り応分のご支援をさせていただきます（本会報別掲案内欄又は総会参加申し込みはがき参照）。当日は、母校後輩の皆さんの協力で楽しいイベントも計画しています。

同窓会役員一同は、定例総会特別企画開催に向けて一生懸命で諸準備を進めておりますので、会員の皆様には万障お繰り合わせの上、多数のご参加をいただきたくお願い申し上げます。

四. むすび

同窓会「自生人」は、母校と父母会の習志会との三位一体の関係を常に維持しながら学校法人、母校へのご支援と同窓会員相互の交流の促進を念頭に置き永続的な活動を展開していく所存です。

会員の皆様におかれましては、今後も益々ご健勝にてご活躍の上、同窓会事業へのより一層の参加と連携・協働を賜りますようお願いいたします。

# ご挨拶

学校法人東邦大学 理事長 炭山嘉伸



東邦大学付属  
東邦中学校・高  
等学校同窓会会  
報発行にあたり、  
皆様にご挨拶申  
し上げます。日  
ごろ、同窓会会  
長 鮎川二郎先生  
をはじめ、皆様  
におかれましては、母校のためにご支援をいた  
だいていることに感謝申し上げます。

学校法人の平成二十八年度事業報告は、三月  
二十四日に開催した理事会・評議員会で報告済  
みですが、同窓会の皆様にも、その一部をご報  
告いたします。

本法人全体の帰属収入は約八六〇億円、その  
うち医療収入は七十五%の約六五〇億円であり、  
診療報酬改定がマイナスだった平成二十八年度  
は、その収入への影響が懸念されましたが、病  
院運営戦略会議を通しての分析・対応により、  
安定的な伸びを示しました。また、学納金にお  
いても、各学部・校が積極的に入学者を確保す  
るなど法人全体では、予算を大きく上回る黒字  
額を確保できました。これにより、平成二十八  
年度から平成三十年度までの三年間中期経営計  
画の目標黒字額二十二・六億円を、初年度のみ  
で達成できたことは、たいへん大きなアドバン  
テージであり、今後の事業計画もさらに発展性  
を持った目標を持てるのが嬉しい限りです。  
また、本年度は、本学五つ目の学部として

七十六年ぶりの新学部である健康科学部が開設  
いたしました。初年度スタートは心配でした  
が、偏差値の高い多くの志願者（倍率十一倍）  
が集まり、素晴らしいスタートができました。  
（ちなみに五学部の倍率は十二倍）

付属東邦中学校高等学校隣接地の習志野キャ  
ンパスは、この新学部開設で、自然科学系総合  
大学として、更に充実を増し、これらが連携を  
強化し、更なる特色ある活気にみちたキャンパ  
スになることが期待できます。平成二十九年  
は、本校姉妹校である駒場東邦中学高等学校の  
創立六十周年、薬学部開設九十周年を迎え、更  
に来年度には新大橋病院が開院いたします。付  
属東邦中学校高等学校も、私が理事長に就任し  
て以来懸案としてきた中高一貫教育が本年度よ  
りスタートいたしました。教学環境の整った  
キャンパスにおいて、より一層優秀な教育がで  
きることを確信しています。もともと建学の精  
神を重視し、文武両道を重視したりベラルア  
ー型の教育を実施している付属中学校高等学校  
ですので、これから六年間一貫して受けられる  
学生は、たいへん幸せであり、必ずや教育効果  
向上にも繋がることを確信しています。教職員  
の皆様におかれましては、六年間を視野に入れ  
た人間教育をしっかり行っていただけること  
を切望いたします。

東邦大学付属東邦中学校・高等学校同窓会の  
皆様におかれましては、この六年間一貫教育へ  
のご支援と共に、本法人に対するご支援に感謝  
申し上げます、私のメッセージといたします。

## コミュニケーションマーク



東邦大学

このマークは、東邦が大切にしている価値観を「象徴化」したもので、今後の東邦ブランディングの視覚的表現の核となるものです。東邦に流れ続けてきた価値観、これからも大切に引き継ぎ伝えていくべき価値観に学祖の思想「自然・生命・人間」があります。「自然・生命・人間」を象徴する12のアイコンによって構成される本コミュニケーションマークは、2007年4月より導入され、様々なコミュニケーション活動において展開されていきます。



医学部本館

## ご挨拶

東邦大学付属東邦中学高等学校 校長 松本 琢司



同窓会の皆様方には、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご支援を賜りまして、心から感謝申し上げます。

特に、関東大会・全国大会出場の部活動に対して、ご支援いただきましてありがとうございます。会報のあとの方のページにありますように、お礼の気持ちを込めて、部員たちが活動報告をしてくれています。

小高先生から校長を引き継ぎ三年目を迎えました。前校長の目指した、教養主義に立った「健全な進学校」の方向性を堅持しつつ、「選ばれる学園」作りをはかってまいりたいと考えております。

## 中高完全一貫生が高校入学

数年前からお伝えしておりますので、ご存じのことと思われませんが、東邦中高は平成二十九年より高校募集を停止したため、今年の高校の一般入試は行いませんでした。それに伴い実施した高校帰国生入試は、定員十名に対して三十五名の応募があり、八名が入学しました。付属中学からは三十二名が高校に入学しましたので、合計三三〇名で新高校一年はスタートしております。帰国生に対し

ては、付属生に先立って入学許可を行い、春休み中から数学の特別授業を実施いたしました。

中高完全一貫生が高校一年生になったわけですが、一年生は高校二年からの文理分けを控えて、中学三年の三学期の進路（職業）講話などを通じて、進路選択に真剣に取り組んでいるところです。そのような進路選択に関しては、職業講話や進路ガイダンスの折りに、卒業生の方々には講師としてご協力をいただいております。大変感謝しております。後輩に向けた貴重なお話をありがとうございます。

## 中学入試改革

先ほど高校入試に関しては触れましたが、中学入試の方は、従来の前期入試（定員二五〇名）・後期入試（定員二十名）に加えて、新たに十二月に推薦入試（自己推薦による第一志望入試、定員三十名）を導入しました。初年度は予想を大きく上回る六三八名もの応募があり、実質倍率も二十一倍を越えるものとなりました。このように中学校の定員は、三十名増の三〇〇名に変更になりました。中学入学者は三二三名でした。

部活動については、中高の部分的な統一化がはかられ、一昨年四月から、高校にはあつて中学校にはない多くの部活動について同志

会が設置され、中学校の新入生はもろんのこと、上級生も入会することができるようになり、多くの同志会が二十九年には同好会に格上げになりました。久しく高校にしかなくなっていた男子バレー、軟式野球なども公式戦に出場し、習志野市内の中学校と競っています。

## 国際交流

他校に比べて遅れをとっていた感のある国際交流の面も充実をはかり、中高生のうちにさまざまな国際交流に関する体験を積む機会をふやしていきたいと考えております。国際交流室を設置して三年が経過し四年目を迎えました。

アメリカ合衆国アラバマ州タスカルーサ市と習志野市との姉妹都市としての交流事業に三年前から参加しておりますが、昨年は八月に六名の高校生が渡米しました。本校主催の海外研修は従来の高校一年時のオーストラリア語学研修（約五十名、希望者多数の場合は抽選）を希望者全員の参加とし、実施時期を中三に移すことにしました。今年も移行期ですので、高一（約七十名）が夏休み開始早々、中三（約一〇〇名）が夏休み後半にそれぞれ二週間行くこととなります。

同じく希望者対象ですが、今年はいじめで中学三年と高校一年の年度末にシンガポール研修（二学年計三十名）を実施しました。これは現地のインターナショナルスクールで寮生活を送りながら、その学校の授業に参加し、すべて英語でさまざまな科目の授業を受けるというものです。大学の世界ランキングでアジアのナンバーワンである

シンガポール国立大学の見学も同大学の学生案内で行いました。

昨年、オーストラリアのブリスベンにあるセントピーターズブルーサランカレッジと姉妹校提携を結びました。今後、スポーツや文化の面でも交流を深めていく予定です。九月には先方から日本語を学ぶ生徒が来校しますし、三月には東邦中サッカー部が親善交流に行きます。

**新テストに向けて**

進路指導部から詳細は報告がありますが、今春の卒業生の進学実績については、ごく一部の難関大についてはやや振るわなかったものの、全体としては良好であったと言えると思います。

昨年度末に、新学習指導要領が発表され、それに先行して大学入試も大きく変わろうとしております。二〇二〇年から、思考力・判断力・表現力を問う、大学入試センター試験に代わる「新テスト」も導入されようとしています。本校では、これらの教育をめぐる動きに迅速かつ適切に対応しつつ、建学の精神を堅持し、社会に対して有為な人材を送り出すべく努めてまいり所存です。先ほどのような海外での体験も、こうした力を培うことに大きく寄与するものと思われまます。

**東邦スペースイヤー**

今年の十二月に、本校の卒業生の宇宙飛行士金井宣茂さんがいよいよ国際宇宙ステーションに向けて飛び立ちます。金井さんは、東邦中学を経て、東邦高校を平成六年度に卒

業し、防衛医科大学校に進まれました。防衛医大卒業後は、海上自衛隊の各地の病院に外科医として勤務し、二〇〇八年に募集された宇宙飛行士選抜試験に挑戦されました。九六三人の応募者のなかから三人の候補者に選ばれ、アメリカのNASAで基礎訓練を積み、二〇一一年に宇宙飛行士として認定されました。

本校では今年度をスペースイヤーとし、各機関と連携しながら金井さんの応援をするとともに、「宇宙に関する関心を高め、宇宙開発や宇宙探求で得られた知識を学ぶ宇宙教育を推進するもの」として、系統的なプログラムを計画・実施していきたいと考えております。あくまでも予定ですが、JAXA見学会、宇宙に関する講演、打ち上げライブ、国際宇宙ステーション滞在時のリアルタイム通信などを計画しております。こちらの方も同窓会のご支援をいただけることに大変感謝しております。

**東邦中高の歴史と現在がわかる書籍発刊**

昨秋ダイヤモンド社から学校研究シリーズの第十巻として、おおよとしまさ著「中学受験 注目校の素顔 東邦大学付属東邦中学校・高等学校」が発刊されました。内容は卒業生インタビュー・学校の歴史・教育理念・授業・教育課程・日常風景などです。巻頭のロングインタビューに、平成二年度卒業の山崎隆雄さん（現東北大学教授）にに応じていただきました。大変東

邦の雰囲気が出ていてうれしく思い、感謝しております。

必ずしも学校に都合のよいことばかりが書かれているわけではありませんが、現在の生徒の生の声も入っていて、本校の素顔を通じて、本校の魅力がよく伝わるものになっています。卒業生の皆様も、ご覧いただければと思います。

最後になりましたが、卒業生の皆様方の益々のご活躍と同窓会のご発展をお祈りいたします。



おおたとしまさ  
『中学受験 注目校の素顔  
東邦大学付属東邦中学校高等学校』

# 同窓会のこの一年

同窓会副会長 渡 邊 和 彦 (二十期生 歯科医院経営)

同窓会活動のこの一年(平成二十八年七月〜平成二十九年六月)を簡単に報告させていただきます。

## 同窓会会報「ならしの」 第三十六号の発行

例年通り、定例総会の開催に合わせ同窓会会報「ならしの」第三十六号を発行いたしました。

## 同窓会総会・懇親会

平成二十八年七月十日、ホテル「ザ・マンハッタン」幕張新都心にて開催いたしました。議事は、会報「ならしの」第三十六号に提示された議案を中心に予定通り進められ、決算報告、事業報告、予算案、事業計画案等、すべて承認されました。

総会に続いて行なわれた懇親会には、学校法人東邦大学理事長炭山嘉伸先生や母校の先生方をお招きし、総会に参加できなかった新会員も加わりました。世代を越えた親睦の場として、情報交換の場として、有意義な集いが実現できたと思います。東大医学部卒の耳鼻科医でコメディアンとしてもご活躍の蔵内隆秀さん(三十



期生)にはノーギャラで楽しい芸をご披露いただきました。会が大変盛り上がったのはいうまでもありません。

## 母校卒業式に向けての取り組み

### 一・卒業記念品の贈呈

卒業を祝し、例年通り、ペン型印鑑と「鮎川会長デザイン特製ペーパーバッグ」を卒業生全員に贈呈しました。

### 二・臨時会報の発行

今年度も新入会員に対して、「臨時会報」を作成・配布致しました。会報には、同窓会組織・規約の説明、高校卒業生への祝詞と激励などを盛り込みました。

### 三・同窓会入会式

三月二日(卒業式前日)、母校体育館で同窓会入会式が行なわれ、同窓会執行部を代表して岡田隆治理事(三十六期生 母校教諭)が歓迎の挨拶をしました。

### 四・卒業式への参加

三月三日、母校体育館で卒業式(卒業生三六九名)が挙行され、私、渡邊が同窓会を代表して、来賓祝辞を述べました。

## 会報「ならしの」第三十七号発行

(平成二十九年六月十日)



## 母校教育活動への支援

### 一・同窓会アワード

(母校生徒への報奨制度)

規定に従い、次の部活に報奨金を贈呈しました。(学校の近況のページに関連記事があります。)

- 中学校スキー部 (関東大会出場 全国大会出場)
- 中学校卓球部 (関東大会出場)
- 高校スキー部 (関東大会出場 全国大会出場)
- 高校硬式テニス部 (関東大会出場 全国大会出場)
- ※ 関東大会において、男子リレーで優勝

- 高校弓道部 (東日本大会団体戦出場)
- 高校考古学部 (全国高等学校フォーラム参加)

### 二・国際交流教育支援

母校では、国際交流に関する教育の推進を目的として平成二十六年に国際交流室が設置されました。母校の取り組みの一助となることを願い、昨年度に続き支援金を贈呈しました。(二十三ページに国際交流室からの報告記事が掲載されています。)

## 同窓会事務局からのお知らせ

### 一・同窓会報の発行・配布に関して

今後、同窓会報は、原則として同窓会ホームページで閲覧していただくこととなります。このことに伴いまして、ホームページ閲覧用のIDとパスワードをお知らせします。

URL <http://www.shiseiin.org/>  
E-mail [shiseiin@yahoo.co.jp](mailto:shiseiin@yahoo.co.jp)

今後、引き続き、同窓会報の送付を希望される方は、同封の返信はがきでご回答をお願いします。

### 二・同窓会の各学年幹事について

同窓会の各学年幹事に自ら立候補を希望される方、または推薦者がいらっしゃいましたら、同窓会事務局まで文書またはメールでご連絡ください。

幹事の職務は、同窓会会員相互の交流促進、同窓会本部と各学年会員との連絡・交流等です。

三、同窓会ホームページと新サービスシステムについて

同窓会本部では、同窓会活動充実のための取り組みの一環として、標記の件につきまして準備を進めて参りました。当会報九ページ、十ページに詳しい説明がございますので、ご覧ください。なお、不明な点等ございましたら、同窓会事務局にお問い合わせください。

同窓会活動への寄付協力をお願い

平成二十一年度の同窓会総会で決定しました通り、二十二年度より会員の皆様に寄付の協力をお願いしています。要領は左記の通りです。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

記

- ・ 寄付金は、一口一、〇〇〇円、二口以上とする。
- ・ 振込先 千葉銀行 船橋支店 店番号015 普通口座 3353747

口座名 東邦大学付属東邦中学校・高等学校同窓会

(トウホウダイガクフゾクトウホウウチユウガッコウ)

※寄付協力は会員の自由意志によるものです。ご質問、ご意見などございましたら、同窓会事務局に連絡してください。

寄付のご協力を頂いた方をご紹介致します。ありがとうございます。

- 齋藤 正義 様 十三期
- 泉 玲子 様 二十九期
- 鹿島謙一郎 様 三十八期
- 伊東 俊哉 様 六十二期

現同窓会役員紹介

鮎川 二郎	七期	会長	大学教授
渡邊 和彦	二十期	副会長	歯科医
渡邊 学	三十一期	副会長	医師
椋原 茂樹	八期	理事	会社役員
能勢 英雄	十四期	理事	元地方公務員
岡田久仁子	十五期	理事	会社役員
秋元 保次	十六期	理事	会社経営
藤内 圭一	十八期	理事	歯科医
手塚 幹子	十八期	理事	
御喜 和	十八期	理事	薬剤師、大学講師
田浦 智子	十九期	理事	母校教諭
牧 栄	二十期	理事	鍼灸師
北川 太郎	三十一期	理事	薬剤師
五十畑昭彦	三十一期	理事	
三矢 宏	三十二期	理事	弁護士 会社役員

**同窓会事務局より**

事務局担当理事 岡田 隆治 (36期生 母校教員)

(1) パート事務員の方の同窓会事務室での執務時間  
水曜日 9:30～14:30  
土曜日 9:30～14:30  
同窓会へのお問い合わせは、なるべくこの時間帯をお願いします  
直通電話 047-472-1160  
\* FAX 番号は電話番号と同じです

(2) 緊急の連絡に関して  
上記の執務時間以外は、同窓会室への電話連絡はできません  
緊急のお問い合わせは学校代表 047-472-8191 にお電話いただき、「同窓会関係教員」を呼び出してください

(3) ホームページ等に関して  
URL <http://www.shiseinin.org/>  
E-mail [shiseinin@yahoo.co.jp](mailto:shiseinin@yahoo.co.jp)

訃報

前同窓会副会長の齋木光雄様が平成二十八年十一月十九日に逝去されました。(享年七十二)  
齋木様には東邦中高同窓会の会務低迷期における改善の取り組みで格別のご尽力をいただきました。そしてその後も、鮎川会長の右腕として、長く会務運営を支えてくださいました。同窓会執行部一同は、これまで齋木様から戴いたご厚情に心から感謝するとともに、ご冥福を謹んでお祈りしております。

合掌

- 岡田 隆治 三十六期 理事 母校教諭
- 鈴木 実 十八期 監事 地方公務員
- 土田 雄大 四十六期 監事 母校教諭







## トピックス&インフォメーションズ

同窓生が各方面で活躍しています。学校法人東邦大学「広報」に掲載された記事の一部を紹介させていただきます。

### 金井宣茂さん 国際宇宙ステーションへ初飛行

付属東邦中学・高等学校卒業生の金井宣茂さんが、宇宙飛行士として国際宇宙ステーションに今年の 10 月から滞在することが、昨年の 11 月に米航空宇宙局（NASA）より発表されました。

金井さんは、付属東邦中学を経て東邦高校を平成 6 年度に卒業し、防衛医科大学校に進学しました。防衛医大卒業後は海上自衛隊の各地の病院に外科医として勤務し、2008 年に募集された宇宙飛行士選抜試験に挑戦しました。そして、963 人の応募者の中から、3 人の候補者に選ばれ、アメリカの NASA で基地訓練を積み、2011 年に宇宙飛行士として認定されました。同じ年に候補者となった 3 人のうち、油井亀美也さんと大西卓哉さんは既に宇宙飛行士を経験されており、今回は金井さんが飛行されます。

付属東邦中学・高等学校では、金井さんの飛行にあたり、ソユーズ打ち上げ時、国際宇宙ステーション滞在時および帰国後などにイベント等の計画を検討しています。

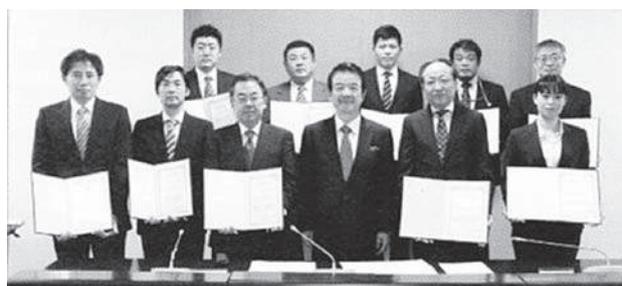


金井 宣茂さん

### 額田奨学金授与式 創立 60 周年記念学術振興奨励金授与式

平成 28 年度の額田奨学金受給者について、平成 29 年 1 月 27 日に開催された額田奨学基金運営委員会において、東邦大学額田奨学基金規定および細則に沿い 10 件が決まり、授与式が平成 29 年 2 月 24 日の理事会の席上にて執り行われました。

本奨学金は、教職員、学生、生徒および本学学部卒業生の研究を奨励するため、創立 40 周年記念事業の一環として、創設者である額田豊、額田晋両先生の建学の精神を顕揚する目的をもって設立された本学の中で名誉ある奨学金制度となります。



平成 28 年度 額田奨学金授与式

前列中央 炭山嘉伸理事長  
 前列左から 3 番目 渡邊学氏  
 東邦高校三十一期生 現東邦高校同窓会副会長 大橋病院准教授  
 専門は消化器外科。炭山理事長の愛弟子。  
 後列左から 4 番目 池田浩司氏  
 東邦高校二十八期生 東邦高校教諭 生物担当  
 今回の奨学金授与の対象となった研究テーマは「オーストラリアの自然、および自然保護活動の教材化について」。

# 特別寄稿

## 退職のご挨拶

### 同窓会のみなさまへ

元東邦中高 数学担当教諭

矢部 秀明

長かった東邦生活も四十一年間の区切りをもってこの三月三十一日で終わることになりました。

四十一年前桜の花が咲く校庭を通り東邦の事務室にやってきたのが始まりです。生徒がみな校庭でバレーボールをしていて明るい雰囲気でした。

最初は中一の副担任で当時はクラスの日帰り旅行が認められていました。奥多摩の洞窟探険や野田のフィールドアスレチックや千葉の動物公園に担任の先生やクラスの生徒と行き楽しかった思い出があります。奥多摩の山道を生徒と歌を歌いながら歩いたのは学校の外だったからでしょう。東邦の九十九里の宿泊施設に泊まり地引網やキャンプファイヤーをしました。中一の生徒は夜基礎英語の学習をしました。今の生徒にその話をするとう旅行に行って夜勉強するなんて信じられないといえます。さすがに中一だけでしたがすべてが純な時代だったのでしよう。

結局中学と高校を六回移動しました。自分が高校生の時英語か数学の教師になろうと思って迷いました。外国の文学も好きだったので。一

日中数学をするという生活が未知のもので不安ではありました。大学生の時は研究者になったクラスの学生も多く自分はそのまでの力もないのでわかることをやり人の役にたてれば生きがいもあるのではと思いました。

それで現在に至ったわけで正解でした。東大などの難関大学をうける生徒はもつとむずかしい内容を期待していたようです。プリントなど易から難と幅をもたせました。

勤務開始から新しい時代を常に経験していくような状況で常に緊張感がありました。今思うとあのときこう言えばよかったと後悔することが多いです。数学の教師はがんばって進学実績を上げてくれという期待感と義務感がありました。実際勉強するのは生徒なので

教師の影響は補助的なものだと今は思っています。全般にわたるもつと生徒と話しをしたかったなと思つて反省しています。

部活は卓球部が一番長くもつとスポーツはそれほど得意ではなく今のように関東大会までいくようになるとは思えられませんでした。スポーツは卒業してから長く続けるのが大事かなと思つています。スポーツを通じた良い人間関係が続けばいいのではないのでしょうか。

東邦で人生の大半を過ごすことができ大変幸せでした。力が足りなかったり役にたてなかつたりしたこと多かったのですがなんとか最後まで勤められました。すべての人に感謝して挨拶とさせていただきます。

## 新しい出発

元東邦中高 音楽担当教諭

内藤 紀之

私は、本年三月三十一日をもって定年退職となりました。

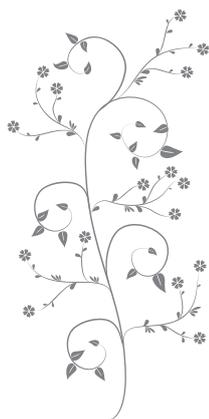
今まで、先生方、生徒の皆さん、事務の方々、用務の方々に大変お世話になりました。

ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

私が本校に赴任した当時の中学校はクラス数も少なく、音楽系の部活や行事もほとんどなく、すぐに弦楽部、吹奏楽部を創設し、合唱部の顧問とで三つ部の顧問を一人で行いました。

翌年には合唱コンクール(現・音楽祭)を立ち上げました。

お陰様で、中学オーケストラも立派に成長し、



昭和五十四年卒業学年教員団  
前列左から 2 番目矢部先生、3 番目内藤先生

高校オーケストラは全日本高校オーケストラ全国大会に出場しました。

卒業生のオーケストラは、東京での演奏会やヨーロッパ公演を三回行いました。

音楽祭でも生徒の皆さんが頑張ってくれ、文化祭では高校三年生の有志合唱は毎年素晴らしい合唱を聞かせてくれていきます。

これも全て皆さんのお陰と感謝しています。私を成長させてくれたのは先生方、そして生徒の皆さんのお陰だと思います。私の指導が上手くできないときは、自分の経験の浅さと、謙虚さがなかったと思っております。

生徒の皆さん。ありがとうございます。これからも頑張ってください。

私はこれから、指揮と作曲を頑張っていきたいと思っています。

## 母校の教壇に立って

東邦中高 理科担当教諭

度 会 裕 正

私は昭和五十年（一九七五年）四月に東邦中学に入学し、昭和五十六年（一九八一年）三月に東邦高校を卒業しました。昭和六十年（一九八五年）に千葉県公立高校の理科の教員（専門は物理）として採用され、以後三十二年間、公立高校の教員として五つの高校（A高校、B高校、…：E高校、としておきます）で勤務してきました。

そして本年度の四月、教員として母校に戻りました。現在は中学二年生と三年生の理科を教えています。生徒として六年間過ごした校舎に教員として戻るといふことには、感慨深いものがありました。

転職には気苦労やストレスが伴うのが普通なのかもしれません。しかし私はこれまで全くストレスを感じておらず、毎日が楽しく、幸せでたまりません。公立高校と比べて、東邦の教育環境や労働環境は格段に素晴らしく、学校の教育理念も自分の教育理念と合致しており、同僚は皆親切で、伸び伸びと思いい切り仕事に打ち込むことが出来ています。これまで高校生しか教えたことがありませんでしたので、中学生を教えることには若干の不安もありましたが、実際に教壇に立つてみると、生徒は素直でかわいく優秀で、今では授業が楽しくて楽しくて仕方がありません。

私が高校を卒業した日、担任の赤羽根先生は最後のHRで私たちに、「卒業したら帰ってきな。母校とは遠くにあつて思うものだ」とおっしゃいました。それは、「卒業後に母校に帰ってきたくなるのは、その時の生活が高校時代よりも充実していないからであり、それは情けないことだ。新しい生活の場で精一杯頑張り、高校時代以上に充実した毎日を送れ」という意味の、激励の言葉でした。

私は、恩師の言葉は忠実に守るべきものだと思っていましたので、それから四半世紀以上、母校には一度も足を踏み入れませんでした。

九年前の秋、私の娘は小学三年生でした。お習字の塾からの帰りに東邦のそばを通りかかったところ、銀杏祭が開催されていました。娘はお祭りが大好きでしたし、私も、「今の生活が充実していないわけではないのだから、もういいだろう」と思い、四半世紀ぶりに母校の校地に足を踏み入れました。自分の在校中と変わっていない部分にたまらない懐かしさをおぼえるとともに、新しくなった部分に驚嘆しました。何より驚いたのは、銀杏祭の素晴らしさでした。

私の高校時代、東邦はどちらかというと行事には力を入れておらず、文化祭と体育祭は隔年開催でした。文化祭がある年には体育祭がなく、体育祭がある年には文化祭がなかったのです。ところが四半世紀ぶりに見た東邦の文化祭は、私の高校時代とは全く別のものになっていました。文化祭に対する生徒の情熱、文化祭に対する学校の力の入れ方、発表内容のレベルの高さには目を見張るものがありました。しかもそのハイレベルな文化祭を、生徒主体に運営している。理想的な文化祭の姿だと思いました。

娘は、小中高一貫の私立学校を退学して東邦中学に進学するくらい、銀杏祭に強く憧れました。入学後は毎年、クラスの中心になって文化祭を頑張ってきました。一方私は、娘が中学に入学した年、習志会の理事になりました。

それまで私は公立高校の教員として、担任を持ったクラスの保護者にPTAの理事をお願いする立場でした。どなたもお仕事や家庭の事情があるにもかかわらず、毎年誰かが必ず理事を引き受けてくださり、頭が下がる思いでした。そこで、「自分の番が来たら、自分もPTAをやってみよう」と思うようになったのです。PTA活動とはどんなものなのか、ということにも興味がありました。

実際やってみると習志会の活動は、素晴らしいものでした。どこがどう素晴らしいかという話は本稿の主旨からはずれますので割愛しますが、その素晴らしさに魅せられ、私は五年間理事を務めました。

習志会では広報委員会に所属しました。私は中学・高校で新聞委員会の委員長をやり、大学では生協委員として生協の新聞の編集に携わり、教員になってからもしばしば新聞委員会の顧問を経験し……つまり新聞作りが好きだった

からです。

広報委員会では二年目に副代表になり、四年目に代表になりました。そのため校長先生とお会いする機会が増え、昨年、「物理の教員を募集する」というお話を教えていただいたのでした。在職していた学校の生徒達のことを考えてしばらく悩みましたが、最終的には「母校の教壇に立とう」と決断し、採用試験に応募し、公立高校を辞職し、現在に至りました。

習志会の広報委員会をやらなかったら、現在の私はありません。娘が東邦中学に入学しなかったら、習志会の理事になることもありませんでした。そして九年前のあの日、たまたま銀杏祭に出会わなければ、娘が東邦を志望することとはなかったでしょう。

ということは、現在の私のスタート地点は九年前の銀杏祭……と言いたいところですが、娘がこれほど「文化祭好き」でなかったら、銀杏祭を見ただけで東邦を志望することはなかったかもしれません。娘の「文化祭好き」は、私の影響なのです。

私はB高校で文化委員会の顧問を務めました。B高校は、来校者数千人、県下最大規模の文化祭を、ほぼ完全に生徒主導で運営しています。文化委員会は、有志会員を含めると通常の委員会の十倍以上の規模の巨大組織で、その巨大組織を仕切るリーダーを指導し、育てるのが、私の仕事でした。先日、部屋の整理をしていたら当時の生徒からもらった手紙が出てきたのですが、その中に「先生はB高校で一番熱く、一番私たちに近い先生でした」と書いてありました。高校時代の私を知る人には信じられないことでしょうし、今の私だけを知る人にも想像できないでしょうが、当時の私はそういう教師だったのです。

次のC高校はいわゆる教育困難校で、勉強も部活も行事も不活発でした。私は生徒会の顧問を任じられました。こういう高校では何も出来ないのではないかと思います。生徒会役員達は「文化祭をもっと活発にしたい」と望んでおり、その声に応えるために生徒と一緒に頑張りました。はじめは先生方から「教員の負担が大きい」とか「文化祭は廃止すべきだ」という苦情を多数いただきましたが、五年目には苦情は皆無となり、文化祭は見違えるほど立派になりました。

次のD高校の生徒は能力的にはC高校の生徒より遙かに優秀でしたが、部活動中心の学校で、何もかも部活動優先である結果、私が赴任した当初の文化祭はC高校以下の寂しい状況でした。その文化祭が、私が八年間生徒会顧問をする間に、誰に見せても恥ずかしくないレベルまで内容を向上し、来校者数も三倍以上になりました。私一人の手柄ではなく、多くの先生方のお力添えあってのことでしたが、おそらく一番熱意を持って文化祭に取り組んだのは私だったのではないかと思います。

娘は、私がB高校に在職していた時に生まれました。つまり娘は、文化祭に取り組む私や私の生徒の姿をずっと見ながら育ったのです。私が文化祭に力を入れてきた理由の一つは、生徒に「自分たちの力で何かを作り出す経験」の素晴らしさを知ってほしいからでした。小学生時代の娘が銀杏祭に惹かれたのは、「生徒達の力で作り上げている文化祭」を目の当たりに見たからかもしれません。

では私の「文化祭好き」はどこから来ているかと考えると、それは自分の中学時代・高校時代に引き着きます。それだけではありません。本校に着任する前、私は自分の教員人生を振り

返り、「教員としての自分の基礎」がすべて自分の東邦時代に形作られていたことに気付きました。

例えば、私が物理を好きになったのは、高校時代に大槻先生の授業を受けたからです。大槻先生の授業は魅力に溢れていました。高校時代、私は大槻先生に憧れていました。大槻先生との出会いがなければ、私は物理の教師にはなっていなかったでしょう。

私が「生徒の力だけで何かを作り上げる」ということに大きな価値を感じているのは、高校時代の新聞委員会が原点です。私が高校一年になって初めて参加した新聞委員会には顧問の先生は全く姿を見せず、二年生が「誰が委員長をやる?」「キムがいいよ」「じゃあ私が」と生徒だけで話を進め、会議を運営し、一年生を指導して下さいました。私は「高校生って、大人だなあ」「かっこいいなあ」と憧れました。翌年私は新聞委員長になりました。先輩のしたこと、言ったことが、ずっと私のお手本でした。卒業アルバムに寄せ書きに「習志野東邦は永遠に不滅です」と書くほど、私にとって新聞委員会は「青春」だったようです。「習志野東邦」というのは、新聞委員会が発行する新聞の名前です。私の「文化祭好き」の原点もまた、東邦でした。中学二年の時に見た東邦高校の文化祭があまりにも素晴らしく、それが私の原体験になっているのです。それ以来、ずっとあの文化祭を思い描きながら、理想の文化祭を追い求めてきたような気がします。

その他にも、教員としての私の基礎となる色々なものを、中学・高校時代に東邦からもらいました。

それがあったから私は今のようない教員になり、だから娘が今のように育って東邦に入学し、

私が習志会の理事になった。高校時代の新聞委員会会の経験があったから、私は習志会の広報委員になり、代表となり、それが転職のきっかけになった。東邦の生徒を相手に授業することが、なぜこもしくくりし、楽しく、幸せなのかという、私自身の「授業とはこういうものだ」「教育とはこうあるべきだ」という基準が、自分の東邦時代に作られたものだからかもしれない。

東邦からもらったものが、東邦を離れてからの三十六年の間にも私の中に生き続けていて、それがまた東邦につながったようです。そう考えると、何か不思議な気がします。

となると、それを今の東邦の生徒につなげていくことが、私の人生の使命なのかもしれません。

## 齋木光雄前副会長を偲んで

東邦高等学校同窓会理事（十八期生）

御 喜 和

通夜式は昨年十一月二十五日に行われました。齋木前副会長の体調がすぐれないという話は聞いていましたが、病状がここまで差し迫っているとは考えていませんでした。私は半信半疑の思いで、齋木さんの地元の齋場に向かいました。

会場は弔問者で溢れており、立派な遺影も飾られていて、現実を受け入れざるを得ませんでした。同窓会役員として、また母校の後輩として、私は齋木さんに可愛がっていただきました。ご遺影の前に立つと、数々の思い出が本当に走馬灯のようによみがえってまいりました。

平成八年四月、私は東邦中学から東邦高校に異動し総務部同窓会係になりました。図らずも

その年、齋木さんは同窓会副会長に就任し、私も理事の一員になりました。実のところ、当時の同窓会会務は大変だったのですが、齋木さんは鮎川二郎同窓会会長の右腕となり、抜群の行動力で課題を一つ一つ解決していきました。実に頼もしかったです。心温かく周囲への配慮を忘れないお人柄で誰からも敬愛されていました。

先日、ご子息の厚人さんから「父が生前お世話になったお礼がしたい」という趣旨のお申し出があり、男「齋木光雄」を肴に語り合う機会を得ました。同級生の鈴木実君（現同窓会監事）も呼びました。鈴木君が齋木光雄さんを心から敬愛していたからです。

（厚人さんの中学時代、私と彼は学級担任・生徒の関係でした。現在、彼は佐倉病院の気鋭の内科医師です。）

厚人さんからご家庭での齋木のことを教えてもらいました。私たちからは厚人さんの知らないお父様の魅力を伝えました。とてもとてもいい時間が持てたかと思えます。

厚人さんから伺った話を参考に、齋木光雄さんのキャリアを簡単に紹介します。

齋木さんは、昭和十九年四月に生まれました。船橋市中山のご出身です。以前、齋木さんのご自宅にお邪魔したことがあります。御殿のような邸宅でした。東邦高校時代の齋木さんはかなりヤンチャだったようです。高校卒業後は東邦大学薬学部に進学。野球部に入部し強打の捕手として鳴りました。妙齢の奥様との出会いは大学時代だと聞いています。昭和五十三年に株式会社斉光を設立（代表取締役社長就任）。薬局チェーン経営、医療ビルの経営など事業を確実に広げていきました。株式会社斉光は現在、ご長男の康益様が後を継いでいます。

天国の齋木さんにお伝えします。東邦高校同

窓会組織は着実に整備されました。私たちは齋木さんの「母校と同窓会への熱い思い」を心に体し、これまで以上に頑張っていきたいと思えます。私たちをお見守りください。

合掌



ご家族とともに  
（写真中央が故人、右端がご次男厚人氏）

### ◆追記

厚人さんがこのたび東邦大学佐倉病院の准教授に昇任されました。お父様ご健在であればさぞお喜びになったと思います。私は「齋木光雄」を敬愛する仲間を誘い、祝宴を持つつもりです。ご遺影を飾り、杯を高く掲げたいです。

# 同窓生のページ

三十三期生 大同窓会を開催

石田麻理子  
前田浩良

二〇一六年十月二十二日に三十三期生大同窓会が開催されました。仲間内やクラスなどでの同窓会はこれまでも開催されてきましたが、学年全体での同窓会は一九八七年三月の卒業以来初めての会となりました。

私たちの卒業した一九八七年は、国鉄が分割・民営化しJR七社が発足、保険会社がゴッホの「ひまわり」を五十三億円で落札したことが話題となるなどバブル景気に突入したところで、映画ではトムクルーズの「トップガン」、テレビでは「男女七人秋物語」が大ヒットしたそんな年でした。その卒業の年から三十周年を迎えることを記念して、学年全体での大同窓会を企画・開催となったのです。

まずは第一部として、卒業三十年を経てずいぶんと様変わりした母校を副校長の御喜先生の案内で見学しました。この学校見学には三十名ほどの仲間が集まりました。私たちの在学時は赤土であつたグラウンドが観客席のある立派な人工芝グラウンドに生まれ変わっていることにまずは驚きました。また、第二体育館や温水プールといった施設の充実ぶりに目を見張りました。そして部活動の合宿等でお世話になった木造の習志館が取壊されてしまっていることに寂しさと時の流れを感じました。一方、本館前にそびえる二本の大銀杏は健在で、枝葉がさらに大きくなった感じを受け、



母校に帰って来たなど懐かしく思いました。第二部は場所を移動して、アパホテル&リゾート東京ベイ幕張の東京ベイ幕張ホールにて再会の祝杯をあげました。  
来賓に松本校長先生、御喜副校長先生、押田節子先生、松本辰雄先生、山岸良二先生、渡邊皓平先生をお迎えし、そして卒業初めて学年全体で開催される同窓会ということもあり、約百人もの懐

かしい顔ぶれが揃いました。開式の辞、松本校長先生からの祝辞、同期生代表の水田大輔君による乾杯にて会は始まりました。会の開始当初は三十年の月日からよそよそしさがあつた仲間も、少しお酒が入り会話が弾むにつれ、そこは不思議な同窓生・同期生マジック、なぜか目の前にある顔は三十年前に戻るので。昔話や近況の報告、「かわらないね」と、話の輪がそこに広がりました。

島野真君の司会により、来賓の先生方のご紹介、遠方から来た人やお子さんも母校に通っている人の近況報告と会は進み、楽しい時間は瞬時に過ぎるもの、御喜副校長先生からのお言葉、そして本当に久しぶりの皆での校歌斉唱にて再会の宴は中締めとなりました。

その後、二次会場を同ホテル内の四十六階バンケットルームに移し、まだまだ話しは尽きない同期生、なんと参加者の約八割！とともに、引き続き当時にタイムスリップしたかのような時間を共有しました。

母校と仲間を敬愛する皆の気持ちはそれでもおさまらず、相当な盛り上がりを見せ、二次会がお開きになった後も三次会があらこちらで開催されていたと伝え聞いております。

事前準備が大変な面もありましたが、想像を超える大盛況に、幹事冥利に尽きる思い出深い会となりましたことを報告いたします。

「ナイトウ・フレンズ・オーケストラ」  
We will meet again!

三十三期生 鈴木眞佐巳

「二〇一六年の秋頃に、卒業生のオーケストラを組んで大きなコンサートをやりたい！」と内藤先生から連絡が入ったのは二〇一四年の初夏の頃でした。

我が恩師で音楽教師の内藤紀之先生は、一九七六年に中学校で吹奏楽部を創部、翌一九七七年には弦楽部を創部し、その後一九八九年に二つの部を取り纏めてオーケストラ部を結

成、その後は中学校のオーケストラ部に加えて高校オーケストラの指導にもあたるなど、精力的にご活躍されてきました。

その内藤先生が二〇一七年の春に定年を迎えられる為、その前にドカンと一発大きな花火を打ち上げよう！ということで、部活のOBたち、いわゆる内藤チルドレンを一〇〇人集めて大きなホールでコンサートを開催するという、二年掛かりのこの壮大なプロジェクトがスタートしたのです。

初めての練習は二〇一四年十月十九日、母校特別教室棟四階の多目的ホールで行いました。

先生の「卒業した君たちとは、これからは友だちとして一緒に音楽をやりたいんだ！」という思いから命名された「ナイトウ・フレンズ・オーケストラ」は、月一〜二回のペースで学校に集まり練習を続け、二〇一五年十月二十五日、四十二名のメンバーと共に最初のステージを迎えました。

「ナイトウ・フレンズ・オーケストラ コンサート」と題し、学校の多目的ホールで開催されたコンサートは、第一部は懐かしの吹奏楽ステージ、第二部はオーケストラステージという二部構成のプログラムでお送りしました。

このコンサートをきっかけに、さらにメンバーも増えていきました。

そしてついに、二〇一六年十一月十三日(日)文京シビックホールにて、コンサートの開催が決定しました！

自身のバンドもいくつか持つていてバンド運営も二十五年以上やってきている私ですが、オーケストラの運営自体は初めてでしたし、試行錯誤の連続でした。

「タクトを持った先生の目の前に、一〇〇人の



メンバーを集める！」それを自分自身の目標に掲げ、このオーケストラに全精力を注ぎ、旗を振り続けました。

そして最終的にメンバーは一四二人も集まりました！

コンサートが近くなると、練習参加者もいつしか一〇〇人を超えるようになり、多目的ホールは人で溢れかえる事態に。まさに嬉しい悲鳴です。今回のコンサートでは、ビッグバンドも編成されました。

内藤先生の長年の夢だったビッグバンド、先生はピアノでご参加です。

そもそもオーケストラにはドラムス、ベース、サククスという楽器は基本的に存在しないため、東邦生だけで賄えない所は私の友人に声を掛けました。

先生に気持ち良くピアノを弾いて欲しい、その思いで集った最高のメンバー。

今回のステージに花を添えていただき、本当に感謝です。

また、今回のオーケストラのために先生に作曲をお願いしました。

「みんなが優しい気持ちになれる曲をお願いしますー」という私のリクエスト通り、キレイな曲を作ってくださいました。

「We will meet again」

音楽を通じて出会った先生と私たち。いつかまた一緒に音楽を、という先生の思いが込められた曲。優しく、温もりが心地よく、どこかホッとする曲「We will meet again」は、メンバー全員の思いを一つにつけてくれました。

これまでの様々な困難も全て笑顔に変えて、そ



してついにその日がやってきました。十一月十三日、この日は朝から快晴。

メンバー総勢一四二人が一堂に集まるのはこの日が初めて、リハーサルにも緊張が走ります。でも、演奏については全く心配はしていませんでした。

これだけ多種多様なメンバーが、それも私が信頼する素晴らしいメンバーが集まれば、本番のステージは絶対に成功する、そう確信していたので。なにより、楽器を持った私たちの目の前には、タクトを持った内藤先生がいるのですから。

一八〇〇席の大ホール、その圧倒的な空間に私たち一四二人のサウンドは響き渡ります。

「ナイトウ・フレンズ・オーケストラ スペシャルコンサート」と題し、文京シビックホールで開催されたコンサートは、第一部はビッグバンドステージ、第二部はオーケストラステージという二部構成のプログラムでお送りしました。

〈一部〉ビッグバンド

Moanin

Sugar

Big Dipper

Take The A Train

〈二部〉オーケストラ

序曲「一八二二年」(チャイコフスキー)

交響曲第四番(チャイコフスキー)

〈アンコール〉

「ローマの松」より「アッピア街道の松」(レ

スピーギ)

We will meet again (内藤紀之)

ラテックキー行進曲(シュトラウス一世)

当日のプログラムはこちらのサイトでご覧いただけます。 <https://www.dropbox.com/s/019iqb4wn7z6ygh/20161106%20%E2%98%86PROGRAM%20.pdf?dl=0>

六〇〇人ものお客さまにお越しいただき、大盛況で且つ終始和やかなムードの中、内藤先生をはじめ、メンバー全員で楽しい時間を過ごすことが出来ました。

私たちが楽しそうに演奏している様子はお客さ

まにも伝わったようで、多くの方からお褒めの言葉をいただきました。

ご来場いただいたお客さま、友人知人から、「このオケはこれからも続くんだよな?これで終わりほもったない。」って何度も言われました。

この二年間が報われた瞬間でした。

メンバー全員が笑顔でステージを迎え、そして心から音楽を楽しむことが出来て本当に良かった。いろいろな場面でお手伝いくださった皆さん、ずっと温かく見守って応援してくださった皆さん、一緒に演奏してくれたプレイヤーのみんな、ナイトウフレンズを支えてくださった全ての皆さんに心から感謝いたします。

本当にありがとうございます！  
そしてなにより内藤先生。

この二年間で、さらにたくさんのことを教わりました。

様々なことを勉強させていただきました。

これからも続く、私の音楽人生の糧になりました。またいつの日か、一緒に音楽を演りましょう！

その日までお元気で！  
We will meet again!

## 「背番号一〇」の人生

### 三十八期生 齋 木 厚 人

東邦大学医療センター佐倉病院で内科医をしている齋木と申します。平成四年の高校卒業式で「東邦学園 永久にかがやけ」と歌い終えたとき、この校歌ともうお別れかと心が震えたものです。が、スウェーデンでの研究者時代を除いて、結局三十年近くも東邦の校歌とは縁が切れておりません。そんな私が同窓会会報に寄稿する機会をいただいたことは身に余る光栄でございますが、単に副校長である御喜先生と先日飲む機会があり、そのついでに依頼をされた可能性も否定はできないと思います。

いま私が入力している仕事のひとつに、高度肥満治療があります。高度肥満とは一〇〇kgを軽く超えるような状態でわが国の頻度は〇・五%

ほど、放置すれば生死にかかわる合併症を引き起こす一方で自らコントロールし減量することが苦手な病でもあり、二重の難病といえます。医療者側からすると苦労の割には成果も儲けもなく、わが国ではほぼ手つかずの領域のため、医療からもれた多くの患者さんが「高度肥満難民」と化し社会問題となっております。この空白の領域に、私たち佐倉病院は内科・外科・メンタルが一体となり、他では対応できないような精神心理あるいは身体的に重症な患者さんをも受け入れています。しかしまだ全員に満足な減量効果を提供できているとは言えません。成果の出にくい肥満治療では、患者さんの多様性を受け入れ、また太りたくて太っているわけではないことを理解することが大切です。相手を決して否定せず、いい時もダメな時も安心して頑張り続けられるような温かさが必要です。とても地味な仕事かもしれませんが、成果が出なくても頑張り続けるのは私たち医療者と同じです。そして、簡単に解決しないからこそ仕事があるのだと思います。

私たちの肥満治療は、メンタルとの二人三脚で飛躍を遂げてきたのですが、そこには奇跡の後押しがあり、実はメンタルの Key Person が中二で同じクラスだった林果林さんなのです。大学も研修先も違うのに、一五年の時を経て佐倉病院で再会した時は運命を感じました。もともと肥満治療に興味があったのかは本人のみぞ知るところですが、彼女はこの分野ですでに全国的に知られる存在であり、残念ながら一生の仕事にしていたかどうかありません。恨むのは私ではなく運命の方にしていたきたいと思います。

林さんと出会った中二を振り返ると、私の中のいろいろなものが交差した時期だったと思います。当時の担任が御喜先生だったことにも運命を感じます。中高時代、私はとても地味な生徒で（今も地味です）、とくに中二の頃は成績も低迷し、「自分には何も無い」と悩む毎日でした（今も悩んでいます）。当時の御喜先生には無駄な心労をおかけし、面談までしていただいたこともありました。成績低下の原因について「量が足りないのか?質が足りないのか?」と御喜スマイルで問い詰めら

れましたが、勉強してないことを認めたくないため後者で答えてしまい、辻褃合わせのために勉強する羽目?になりました。しかし今思えば、先生の問いかけは「自分に向き合いなさい」というメッセージで、回答はどちらでも良かったのかもしれない。その後も先生は私を放置せず、在学中はよく気にかけてくださいました。振り返るとこの時期が人生のターニングポイントだったように思います。

私は小学校では水泳とエレクトーン、中学では陸上に挑戦しましたがいずれも一年と持たず、何も続けられない自分もまた嫌でした。高校進学を目前にして、意地でも何かを成し遂げたい、でも中途半端なものはやりたいくない、喜怒哀楽のある自分になりたいという想いに突き動かされました。そこで選んだものは・・・硬式野球部でした。ファミコンばかりして、全く運動に縁のない自分が硬式野球部。恥ずかしくてクラスメートにはなかなか言えず、ましてや親兄弟になんて・・・。本同窓会で皆様に大変お世話になった父は、残念ながら昨年十一月に少し短めの生涯を閉じましたが、生前は私を褒めてくれたことはほとんどなく、加えて父自身が野球経験者でしたので、私の才能を見抜いたうえでこの小さな願いは退けられると覚悟していました。しかし返ってきたのは意外な言葉でした。「お前は将来人の上に立つんだから今のうちに一流の球拾いをしてこい」と。いくら父の金言であつても、球拾いを目指して野球部に入る奴もいないでしょう、密かにエースを夢見て三年間頑張りました。結果、絶対的エース東園君の脅威にすらならず、最後の大会も背番号一〇（控え投手）で終わりました。野球部の三年間でいい思い出はなく、喜怒哀楽の喜と楽は記憶にありません。しかし私の人間形成の中で、成果が出なくても辞めずに続けたこの三年間は、半分負け惜しみですが、間違いなく大きな財産になりました。戦力にならない私を三年間も根気強く育ててくださった、当時の野球部監督である曾根先生には、大変感謝しております。

今の私が在校生の皆さんに自慢できるのは、卒業できたことと部活を最後までやったことくらい

です。しかし、中高時代に獲得したこの「続ける」という地味な才能が、いつのまにか私の最大の長所になっていく気がします。しかし人生まだ半分、それだけの人間では終わりがたくはありません。校歌二番の「学のともしび高くかけ 久遠の真理の限りなき道を 熱もて愛もて究めも行かん」の部分、中高在学中はこの意味を理解する気もなかったのですが、今読むとこの歌詞には私のような人間の進むべき道が示されているように思います。最近では、外に向かって活躍する東邦高校卒業生の話や耳にする機会も増え、さらに勇気をもらっています。現在、肥満治療では私たち東邦の名が全国的に認知されつつあり、また厚労省の研究事業や多くの学会、研究会も東邦を中心に行われるようになってきました。これを基盤にさらに壮大なストーリーの中で、新たな病態説明や治療法の開発のために、東邦の名を背負い邁進していく所存でございます。結果的に私の人生そのものの評価が背番号一〇であったとしても、そんなことは今は関係ありません。

最後に、「球拾い」の金言を授けてくれた天國の父には、感謝の意を込めて「東邦学園 永久にかがやけ」の言葉を贈りたいと思います。生前は酔っぱらって校歌を良く歌ってましたので。

### 自分の気持ちと他人の気持ち、

どっちが大事？

三十八期生 林 果 林

人の気持ち、心は誰もが大事である！というけれど、人の気持ちはしょっちゅう変わってうつろいやすいのになんでだろう、、、と私はいつも思っていました。確かにずっと同じ強い思いを抱くこともありますが、趣味や人の好き嫌いなんかも、実は長い目で見ると年単位で変わることもありま

すし、何が食べたいかに至っては、日々変わります。このように人の気持ちは不安定で、十数年単位で変わらない気持ちは数えるほどしかないのに、とずっとそれが不思議でした。

中学高校時代、友達の相談にのることが多かつ

た私は、心理の勉強をしたいなあ思っていました。そんな中、倫理の授業で高品輝夫先生がおっしゃるには「意識は氷山の一角なんだよ。意識されていない気持ちは海の中にいっぱい沈んでいる。そこに自分の色々な思いや記憶が埋まっている。」「精神科医や心理士は患者の無意識を掘り起こして意識させて、気持ちを開放させる精神分析という治療をすることがある、そうして気持ちを再認識することで気持ちが楽になったり、症状が改善したりする治療法だよ。」と教えてくださいました。「自分がわかってない自分の気持ちがある？」じゃあまず、自分を理解し、他者自身が理解してない他者の気持ちも理解して癒したい！「そんなきつかけから、私は「人の心」を扱う専門職になることを決意しました。」

そして心療内科・精神科医師として東邦大学病院で働いてもう少しで二十年になりますが、本人がわかってないものを理解しようとするので至難の業です。目の前の患者の状態は、感情面の問題なのか、脳や体のどこかの異常によるのか、演技なのか、意識的なのか無意識なのか。手探りで相手の訴えや、表情や、しぐさや、行動や、とりまく社会的環境や、今までの人生について、うかがい、少しずつ本人の全体像を浮き彫りにしていきます。頭部MRIや心電図、レントゲンや採血等ですぐに病気が見つかった、「よおし！」なんてことも稀にはありますが、ほとんどの場合はお話をうかがって年単位で診療をするという形になります。そうすると数年たつて本人の苦しみが変わり、語られることもありますし、ずっと語られないまま、不可思議のままのこともあります。それでも患者さんは通い続けてこられます。なぜ症状を治せない数医者にずっと通い続けるのかしら。。。本当に不思議だと思っていました。

そんな診療をする中で、心身医学講座中野弘一教授がおっしゃるには「君が患者さんとの予約を取って、この日のこの時間にここにいてあなたを待っているよ！」というメッセージが治療なんだ。」と教えてくださいましたが、当初はよく理解できませんでした。しかし長年「移ろいやすい

のに本当に人の気持ちって大事なのかな？」と思っていたことと考え合わせ、徐々に理解できてきました。人は人に何を一番求めているのか。それは「自分の存在を相手に認められたい。」ということ。朝、挨拶して相手から挨拶が返ってくるだけで人は充実感を得られますが、挨拶が返ってこない、かなり嫌な気分がします。挨拶は相手の気持ちを大事にする行為ではなく、相手の「存在」を大事にする行為です。挨拶が返ってこないことは「自分の存在を認識して」くれたから、逆に返ってこない「自分という存在を無視」されたことになり、本人の苦しんでいる気持ちを理解し、その気持ちを大事にして症状を改善させるということができないのに、私の診療に通い続けてこられるのは「この症状に苦しむ自分という存在を認めてくれる人」だからなんだということに気づきました。

しかし、人間の気持ちが大事なのも事実です。移ろいやすく不安定でもろくて厄介なものでも誰が大事にするべきなのでしょう。それは「自分」です。自分が自分の気持ちを大事にしてあげる！ということです。メンタルにかかせる患者さんの多くは自分の気持ちを大事にしません。意識されるとつらくて、都合の悪い気持ちは海の下に追いやり、自分の気持ちをないことにしてしまします。しかし気持ちはなくなっているわけではなく、無意識に追いやり押しさえつけられ苦しみが別の形で現れるんです。だから、気持ちを大事にするのは自分でなきゃいけません。他者はそんな不安定なものまで大事にできません。自分で自分の無意識を含めたすべての気持ちをいたわってあげるのです。

しかし、意識できる気持ちは大事にできても、無意識の気持ちはどう大事にしたらいいのでしょうか？自分の無意識の気持ちは「理由のわからない気分」「無意識の行動」という形で時々顔を出します。自分が好きな趣味なのにどうしても行く気になれなかったり、時間に遅れたり、仲の良い友達と遊んでいるのになぜかちょっと嫌な気持ちがあったり。もうこれ以上我慢せずに沈めてほしくない自分の気持ちは「たすけてくれ！この気持ち

をないことにしないでくれ！」と言っているサインかもしれません。理由のわからない「気分」や「繰り返し返される行動」の存在に気づいたら「なぜなんだろう」といつも意識して自分を客観的に見て自分について考えてあげてください。すると「はっ」とわかることがあります。そうすると理解できて気持ちやすくなり、「私本当はこんなに嫌だったんだ！」とか「本当はこれが好きなんだ！」という本当の自分の気持ちに気づきしっくりくる感覚で気持ちがお楽になります。社会の中の一員として我慢しなくてはならないことも多い私達ですが、海の下にいつも自分の気持ちを埋めてしまっはけません。自分の意識される気持ちも無意識に沈み込んだ気持ちもひっくり返して「自分」を大事にする感覚を持つてほしいと思います。

(付記)  
平成二十九年二月、東邦中学校は、林果林さんを「進路講話」の講師としてお招きしました。約三十分という限られた講演時間ではありましたが、「中学時代に医師を志したきっかけ」に始まり、その後の進路実現に向けての取り組み、医師としての現在の生活と生きがい、そして仕事と家庭の両立(妻として、母として…)へと繋がった講演は、彼女が東邦中高の先輩であることも加わって、生徒たち(特に女生徒たち)には格別に魅力的、感動的であったようです。今回、林さんに寄せていただいた「自分の気持ちと他人の気持ち、どちらが大事？」は、この時の講演原稿を土台とするものです。

(文責 御喜 和)

## 【告知】 17 期生 (昭和 46 年卒) の同窓会は来年の 2018 年 6 月 24 日 (日) に開催が決定 !! 題して【還暦から古希への折り返し同窓会】

17 期同窓会推進委員会

これまで、2 年越しに準備を進めて参りました 17 期生 (昭和 46 年卒) の同窓会開催が来年、2018 年 6 月 24 日 (日) に決まりました! 未だ 1 年先のことですが、今なご親交のある同期にお伝えください。昭和 27 年生まれの方も、昭和 28 年早生まれの方も 65 歳になってからです。題して【還暦から古希への折り返し同窓会】です。1 年後のことなので、ゆっくとスケジュール調整が出来ます。47 年ぶりのクラス会として、同じ汗を流したスポーツクラブの同期会として、一緒に活動したサークルの飲み会として、仲良しだった女子会としてご活用ください。

もちろん、ご健在の恩師の方々もご招待致します。詳細は来年 2 月に往復ハガキにてご案内致します。会場は JR 津田沼駅を基点に総武線沿線で予定をしております。(JR 京葉線は強風でストップする場合がございます) 会費も極力圧縮したいと思っております。お誘い合わせの上、ご参加ください!

### 【今後のタイムスケジュール】

来年、2018 年 2 月～詳細案内および出欠の往復ハガキ郵送



来年、2018 年 3 月末までに 出欠の返信ハガキ投函と指定口座へ会費振り込み完了



来年、2018 年 6 月 24 日 (日) 17 期生同窓会開催!



来年、2018 年 8 月末までに各自あて記念写真郵送



来年、2018 年 10 月末までに同窓会事務局へ収支報告公開。問い合わせ可。剰余金があれば、東邦中高等学校同窓会へ寄付。



上記に関するお問い合わせは  
同窓会事務局 0474-72-1160 まで。

学 校 の 近 況

一、在籍数(平成二十九年五月一日現在)

《中 学》

	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	計
男子	185 名	173 名	160 名	518 名
女子	138 名	131 名	125 名	394 名
合計	323 名	304 名	285 名	912 名
学級数	8	8	7	23

《高 校》

	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	計
男子	200 名	231 名	212 名	643 名
女子	124 名	134 名	148 名	406 名
合計	324 名	365 名	360 名	1,049 名
学級数	8	9	10	27

二、平成二十九年 度 主 な 学 校 行 事 の 日 程

体育祭(中学) 十月七日(土)

九時から一般公開します。

競技大会(高校) 六月七日(水)・六月八日(木)

文化祭「银杏祭」(中高合同)

九月十六日(土)・九月十七日(日)

一般公開は両日とも九時からです。

入学試験

中学校

推薦……………平成二十九年十二月 一日

前期……………平成三十年 一月二十一日

後期……………平成三十年 二月 三日

高校

帰国生選抜……………平成三十年 一月 十八日

三、部活動の活躍

(平成二十八年四月～二十九年三月)

※県大会レベル以上を掲載。個人競技については上位入賞者および関東大会以上の出場者は氏名を記載。

中 学

●水泳部

平成28年度千葉県中学校水泳競技大会

兼 第56回全国中学校水泳競技大会

会予選会

兼 第40回関東中学校水泳競技大会

会予選会

男子総合準優勝

男子400mフリーリレー

第2位 3分53秒42全国標準記

録突破・全国出場権獲得

(2G永井純斗・3F竹内萌人・

2F岩佐大輝・3D佐藤潤弥)

男子400mメドレーリレー

第2位 4分14秒70全国標準記

録突破・全国出場権獲得

(3D佐藤潤弥・3F竹内萌人・

1G山口将太郎・2G永井純斗)

男子100m平泳ぎ

第6位 1分09秒75

3F竹内萌人

男子200m平泳ぎ

第5位 2分28秒04

3F竹内萌人

第70回千葉県中学校総合体育大会

水泳競技大会

男子800m自由形

第3位 9分01秒36

2G永井純斗

男子100m平泳ぎ

第4位 1分09秒09

3F竹内萌人

男子200m平泳ぎ

第6位 2分30秒35

3F竹内萌人

第56回全国中学校水泳競技大会

男子400mフリーリレー

3泳×4泳の引継ぎ違反 失格

男子400mメドレーリレー

予選13位 4分12秒92

(3D佐藤潤弥・3F竹内萌人・

1G山口将太郎・2G永井純斗)

平成28年度千葉県中学校新人体育大会

水泳競技大会

男子総合3位

男子200mメドレーリレー

第3位 2分00秒44

(2F大崎尚人・2F岩佐大輝・

●陸上競技部

第62回全日本通信陸上競技大会千葉県大会  
個人4名出場  
第70回千葉県中学校総合体育大会  
陸上競技大会

●ハンドボール部

平成28年度第34回浮谷杯千葉県中学校春季ハンドボール大会  
男子・5位 女子・6位  
平成28年度第70回千葉県中学校総合体育大会ハンドボールの部  
男子・3位 女子・ベスト8  
平成28年度第34回千葉県中学校新人ハンドボール大会  
男子・3位 女子・準優勝  
読売旗争奪中学生ハンドボール大会  
(関東大会)  
男女出場

高 校

●サッカー部

第59回関東高等学校体育大会千葉県

●ハンドボール部

平成28年度関東高等学校体育大会  
ハンドボール競技千葉県予選会  
男子・ベスト8  
平成28年度千葉県高校総合体育大会  
ハンドボール競技  
男子・ベスト8

●バレーボール部

第69回千葉県高等学校総合体育大会  
女子出場  
第68回千葉県高等学校総合体育大会  
バレーボール競技大会  
男子出場  
平成28年度千葉県私学バレーボール大会  
男子出場

●スキー部

個人7名出場  
女子走高跳決勝進出  
第41回千葉県中学校新人陸上競技大会  
リレー男女各1チーム、個人6名  
出場、男子400m・女子200m  
準決勝進出  
第67回千葉県中学校駅伝大会  
男子1チーム出場  
第6回千葉県中学校新人駅伝大会  
男子1チーム出場  
第54回全国中学校スキー大会出場  
第72回国民体育大会冬季大会スキー  
競技会出場  
JOCジュニアオリンピック兼中  
学選抜スキー大会出場

●スキー部

予選サッカーの部  
ベスト16  
第69回千葉県高等学校総合体育大会  
サッカーの部出場  
第95回全国高校サッカー選手権大会  
千葉県予選出場  
平成28年度千葉県高等学校新人サッ  
カー大会  
ベスト32  
第52回関東高等学校スキー大会出場  
(学校対抗女子優勝)  
第65回全国高等学校スキー大会出場  
第29回全国高等学校選抜スキー大会  
出場  
第72回国民体育大会冬季大会スキー  
競技会出場  
平成28年度千葉県高等学校新人卓球  
大会

●卓球部

●バスケットボール部

男子学校対抗 出場  
男子シングルス出場 長谷川耀  
(高校2D) 柳沢悠哉(高校2E)  
第70回関東高等学校体育大会  
千葉県予選会  
男子・ベスト32  
第68回千葉県高等学校総合体育大会  
男子・ベスト32

四、ご退職の先生

矢部秀明先生(数学)、島光健治先生(物理)、内藤紀之先生(音楽)がご定年で、成瀬明日香先生(国語)、小島敦先生(英語)が一人上の都合で退職されました。先生方の今後のご健勝をお祈り致します。

国際交流室より

平素より同窓会にはご協力、ご尽力を賜り、誠にありがとうございます。同窓会アワードは、国際交流活動のサポート費用等に充てさせていただきます。

国際交流室が設立され三年目の活動報告です。二〇一六年度も御喜副校長が室長を兼務し、計八名の室員で、海外からの留学生や来校者の受け入れ、海外研修の運営などにあたりました。

特筆すべきは、七月末にオーストラリアはクイーンズランド州の州都ブリスベンの私立学校 St. Peters Lutheran College (セントピーターズルーサランカレッジ、略称 SPLC) と姉妹校提携を樹立したことです。昨年この欄でもご紹介しましたが、二〇一五年十二月にオーケストラチームが来校して、部活動交流とホームステイを行い、それに対する高い評価が結実したものです。高校一年生の語学研修中に SPLC を訪問し、オーケストラの生徒たちを中心とする大歓迎を受ける傍ら、姉妹校提携の調印が行われました。(写真①)

当日行われた Multi-Cultural Concert の中で姉妹校提携が発表され、会場は大歓声に包まれました。これを記念して、中学校舎脇にユーカリの木を植樹しました。写真②のパネルが目印です。来校される際には、ぜひお立ち寄りください。この姉妹校提携は、この木たちとともに大きく育てたいと思います。オーストラリアの語学研修には高一四十五名が参加しました。今回から習志野市の谷津干潟と提携湿地として交流のあるブリスベンの

のブーンドル湿地の見学を新たに組み込み、語学研修に留まらぬ東邦中高ならではの研修をめざしています。

それより先の六月に、恒例となった習志野市の姉妹都市アメリカ・アラバマ州タスカルーサ市の高校生十九名が来校し、中高の生徒たちと交流を持ちました。夏休みには、習志野市からの高校生派遣団に、高一・高二生三名ずつが参加し、貴重な経験を得ることができました。その成果の一部は、現在本館ホールで行われている「宇宙★イヤー」の展示の一部となっていますので、こちらも来校される際には、ぜひご覧ください。

また、春休みには、シンガポールのインターナショナルスクール St. Francis Methodist School (セントフランシスマソジストスクール、略称 SFMS) の授業に参加する新たな海外研修を開始しました。中三・高一各十五名



写真①

が参加し、成功裡に終了しました。

さらに、本校にいながらにして国際交流の実をあげるべく、「世界を巡る旅」と題した国際交流基礎講座を始めました。ゼロ回目として、ノルウェーから本校に留学に来ていた生徒に両国の生活の違いを話してもらい、一回目は神田外語大学の先生にインドネシアのガムラン音楽を紹介してもらい、二回目はオーストラリアから千葉大学に留学に来ていた学生に両国の生活の違いを話してもらいました。各階二十名前後の小規模な催しですが、今後も学期に一回の割合で長く続けていきたいと考えております。同窓生の方でご協力いただける方がいらっしゃいましたら幸いです。このように、二〇一六年度は本校の国際交流活動が大きく展開した年となりました。今後の展開にもご期待ください。(国際交流室長 上野 純也)



写真②

アウトード贈呈部活からの報告

◆平成28年度 中学校ハンドボール部活動報告

中学校ハンドボール部顧問 小林 桂  
二〇一六年十一月に行われた千葉県中学校新人ハンドボール大会において、女子準優勝、男子三位という結果を収めることができました。これにより、翌月に開催された第33回読売旗争奪中学生ハンドボール大会（関東大会）に男女で出場することができました。東邦中ハンドボール部初のアベック出場となりました。大会では、予選リーグにおいて男女ともに二勝一敗。残念ながら決勝トーナメントにあと一步届きませんでした。この出場にあたり、同窓会からアワードをいただき、ありがとうございます。部を代表して、この場を借りてお礼申し上げます。昨夏の中学の県総体で、部員や高校生を含む大応援団が歌う大音量の校歌は感慨深いものがありました。今年も四月から新しい仲間を向かい入れ、総勢八十名近い大所帯となり、ハンドボールコートがにぎわっています。県総体では一つでも多く試合ができるよう、男子顧問の柴田大和先生、男女顧問の久富先生とともに、指導していきたいと思えます。お時間がありましたら、大会会場に足を運んでいただけたら幸いです。今後とも、応援よろしくお願いたします。

日本ハンドボール界で指導者・研究者として現在活躍している東邦中高ハンドボール部の卒業生紹介

會田 宏 二十九期 日本ハンドボール学会理事長



【所属】筑波大学体育系教授 同男子・女子ハンドボール部部长  
藤本 元 三十五期 公益財団法人日本

ハンドボール協会指導委員長  
ハンドボール日本代表女子コーチ（二〇〇六年〜二〇〇八年）

【所属】筑波大学体育系助教 同男子ハンドボール部監督  
栗山 雅倫 三十六期 公益財団法人日本

ハンドボール協会常務理事  
ハンドボール日本代表女子監督（二〇一二年十月〜二〇一六年三月）

【所属】東海大学準教授 同ハンドボール部女子監督

◆平成28年度 中学・高校スキー部活動報告

小野崎修平

東邦高校スキー部は現在、男子六名でアルペンスキー、クロスカントリースキーと二つの競技に分かれ、活動しています。多くの人に、



「スキー部って何してるの？」と聞かれてしまうため、スキーはどのような競技か、お伝えたいと思います。

アルペンスキーは斜面の決められたコース（旗が立てられており、その間を通り抜ける）を滑り降り、その速さを競う競技です。その魅力は何といっても、ダイナミックな動きと、一瞬の操作ミスで順位が大きく変わってしまうという緊張感です。高校生の大会では、スラローム（S）、ジャイアントスラローム（GS）、スーパージャイアントスラローム（SGS）の3つの種目があります。この3つの違いは立てられた旗の間隔の違いによるものであり、S↓GS↓S GSの順に旗の間隔が広がっていきます。SGSでは、かなりのスピードが出るので転倒すると大きなケガにつながりやすく、また広いコースを必要とするため、高校選抜などの一部の大会以外では行われていません。一方、Sは細かなターンの連続であり、スキーの操作技術が如実にタイムに現れます。GSは技術はもちろんです。長いコースを滑りぬく体力も大きなウェイトを占めます。冬のトレーニング環境に恵まれない千葉県の手は、このGSを得意とするようです。他校の選手は、夏季に海外で合宿を行う人が多いのですが、彼らに勝つために、頭を使いながら工夫して練習しています。クロスカントリースキーは1kmから15kmまでの起伏のあるコースを、登り、下り、滑り、タイムを競う競技です。平地や上りを滑っているときは苦しいのですが、下りは気分爽快です。ゴールした後の達成感は何にも代えがたいものがあります。

自然とうまくやっていかなければならない特殊なスポーツであるスキーでは、個々人の人間力が試されます。自然の前に自身の人間は無駄です。そのため、私たちはお互いに助け合わなくてはなりません。選手同士で互いを尊重し、

支えてくださる先生、コーチ、スキー場関係者、宿の方々などへの感謝を忘れてはなりません。今年一年間、皆で高めあい、よいシーズンにしたいと思います。



### ◆関東大会に出場して

硬式テニス部 中学三年C組 村上 智紀

僕たち硬式テニス部は、夏休み期間中の七月三十一日から八月二日まで千葉県白子町で開催された関東中学生テニス選手権大会(団体の部)に出場を果たしました。

昨年度の新人戦のときには上位二校が関東大会進出できたのだが、惜しくもベスト四止まりであったため出場を逃してしまい、とても悔しい思いをしたのを今でも覚えています。新人戦の敗戦後には、来年の最後の総体では絶対に関東大会に行きたいという思いを胸に練習に臨んだ。その後、私学中学校南関東大会進出を果たしチームとして様々な経験を積み、三年生になり徐々に夏の県総体が近づく中で、緊張感が日に日に増していきました。幸運にも今年の総体の関東大会は千葉県での開催が決まり、例年一校の枠しかないところ二校の枠に広がったこと、また東邦中はテニス部創立以来一度も総体

で関東大会に進出したことがないことを知り、僕たちは何が何でも関東大会に出場しなければならぬと感じました。

東邦中は千葉県総体では順調に決勝進出をしたが、新人戦の優勝校八千代松陰中学に負けてしまい、三位決定戦で別のブロックであった東海大浦安中学が勝ち進み、二位決定戦を行うことになった。「この試合に勝たなければ関東はない!」そんなプレッシャーの中、みんなの気持ちは一つになることができた。団体戦は五本対決でダブルス二本シングルス三本の五対戦で三勝した学校の勝利となるルールで、僕はシングルスに出場した。相手の選手は東海大浦安の一番手の選手でかなりの強敵であったが、同じ学年の部員や後輩たちの応援もあり、自分のプレーに集中し積極的なプレーで果敢に声を出し攻めのテニスで勝つことができた。僕の一勝を含めダブルス、シングルスでそれぞれ一勝し、総合で三勝することができた。その結果、東邦中は準優勝となり関東大会進出を決定することができた。この関東大会は僕たちレギュラーだけの力ではなく、テニス部全員で勝ち取った勝利であり、一生忘れられないものとなりました。

関東大会前日の七月三十一日、僕たちは学校で少し練習した後、白子町の大会会場へ向かった。全部で十六面のテニスコートがある会場では出場校一チームにつき一コートが練習のために割り振られていた。隣のコートでは一回戦の対戦相手である東京の小平二中が練習をしていた。全国区の小平二中と戦えることは、大変幸運であり自然と気持ちが高ぶっていった。大会当日、校長先生や他の部員たちも白子町に応援をしに来てくれ、開会式終了後いよいよ試合が始まった。僕はシングルス二で出場し、「全国レベルの相手にどこまでやれるか試してやる。」という気持ちで試合に臨んだ。緊張と期待の入り混じった独特の雰囲気の中で試合が始まった

が、情けないことに強気で挑んだつもりが、緊張でもつたいないミスを連発してしまい、一気に五ゲームを連取されてしまった。しかし、緊張も解け自分のサービスゲームでもあったことから、それまでとは違い長いラリーが続きポイントが取れるようになってきていた。良い感じで集中することができ、「これはいけるかもしれない。」と思ったが、決め手に欠けてしまい、惜しくも自分のサービスゲームを守りきれず負けてしまった。そして、ダブルス二本と他のシングルス二本も負けてしまい、チームとしても負けが決定的だった。ただ、負けてはしまったが、最後のゲームで自分のテニスをするところまでできたことは自信となり、僕のテニスにとってとても大きな刺激となりました。県大会同様、僕たちチームが関東大会で全力でプレーしこのような経験ができたのも応援してくれた先生方、部員、両親のおかげだと思っています。本当にあ



りがとうございました。高校に進学してテニス部でレギュラーに入り、またみんなで一つでも多く勝ち、今までに成し遂げられなかったことに挑戦したいです。



◆仲間と共に

水泳部 中学3年D組 佐藤 潤弥

会場中に響き渡る歓声。いつもより強く光を放つ照明。周りの人達から感じられるプレッシャーと緊張感。それらを意識することなく、僕はただ一点を見つめていた。その先ではリレーメンバーの三泳がこちらに向かって泳いできている。残り10mほど、少しづつ足に力を入れてゆく。そうして僕は全中予選のフリーリレー決勝の舞台で、プールへ飛び込んだ。

僕が中学二年生の全中予選、関東大会と全国大会への出場者を決める大会で、僕たちは苦い

思いをすることとなった。フリーリレー、メドレーリレーどちらの競技でも関東大会に出場することができなかったのだ。行けると信じて疑っていなかった僕たちは会場の端で涙を流しながら、自分たちの甘さを思い知ることになった。先輩方はそのまま引退し、僕たちは新しいチームとなった。先輩方がいないという不安がありながらも、どんな時も悔しさを忘れず、仲間と共に辛い練習に耐え、合宿を乗り越えていった。その結果、新人戦で去年以上の結果を残すことができた。その時にはもう、自信のあるメドレーリレーでなら関東大会には出られるという確信があった。しかし去年のことを経験している僕たちは、慢心することなく、最後の全中予選へ臨んだ。

そして迎えた今、この瞬間、仲間や家族、先生方の気持ちを抱負って僕は泳ぎ始めた。現時点での順位は三位、関東大会出場は堅く、全国大会に出場するには僕がベストより一秒ほど速く泳がなくてはいけないような状況だった。みんなのために、僕たちは今まで努力してここまで来たのだ。最後にそう考えた僕は、そこから先は雑念を振り払い、ただただ速く泳ぐことだけを考えていた。

実際に泳いでいたのは一分ほどだったのだが、僕にはたった一瞬にも感じられていたし、果てしなく長くも感じられていた。今まで積み重ねてきた練習の成果を出し切り、やっこのことでゴールした僕は、疲れも忘れてすぐにリレーメンバーたちを見ると、今までにないほど喜んでるのが見えた。一人のリレーメンバーの手を借りてプールを上がると、思わず小躍りしてしまような結果を聞いた。

順位は二位、記録は三分五十三秒四十二だった。全国大会に出場できるタイムは三分五十三秒四十七。つまり標準記録より〇.〇五秒速かったのだ、全国大会出場を決めることができた

だ！まさかフリーリレーで全国大会に出られると思っていなかった僕たちは、いまだに信じられないまま表彰式を迎えた。東邦中学の名が呼ばれ、ひととき大きな歓声が聞こえた瞬間、僕たちはやっと全国大会出場を実感することができた。

フリーリレーで全国大会に出場できたのなら、より自信のあるメドレーリレーでも必ず行ける！その確信は実際に力へと変わり、翌日のメドレーリレーでも無事に全国大会出場を果たすことができた。それも予選で決められたというおまけ付きだ。

こうして僕たちは二つのリレーで全国大会へ出場することができたのだ。

そのあとは他の県大会に出場したり、合宿へみんなと行ったり、先生方が調整してくださったメニューをこなしたりして、全国大会までの三週間を過ごした。その期間中、休みなのにもかかわらず練習にきてくださった先輩方がたくさんいた。その期間中の練習は人数が少なかったのだ、本当に嬉しかった。三週間の間にも大変だったことがたくさんあったが、みんなの支えもあって万全の態勢で全国大会に臨むことができた。

全国大会一日目、午後のフリーリレー。僕たちの最初の大事なレースで僕はとんでもない過ちを犯してしまった。僕たちのチームの第三泳者から第四泳者への引継ぎに違反があったのだ。つまり、僕が引継ぎミスをしてしまっていた。レース後にリレーメンバーの元へ戻ると、みんな明らかに沈んでいる様子だった。僕はどうしても気まづくなってしまう、謝罪もそこそこに独りでダウンへ行ってしまった。

独りで泳いでいる間、僕はずっと思考を巡らせていた。自分のせいで全国大会に東邦の名を残せなかった。それだけでなく、まだ競技の残っているリレーメンバーたちの空気を悪くしてしまった。すべて自分のせいで、そんな時に

思い出したのは、僕たちを送り出してくれた仲間たちの声だった。このままではみんなに顔向けできない。しかし、今日のことを引きずって明日の結果までも僕が足を引つ張ってしまったとなつては、もつと顔向けできないではないか。そう思わせてくれた。だから僕は悲しむことを後回しにし、明日泳ぐ種目の最終調整を行うことにした。その後僕は、リレーメンバーたちにきちんと謝つたあとに僕の意志を伝えようと決めて、一人プールの後にした。

リレーメンバーたちの所へ戻ると、みんなはまだ、いつも通りに迎えてくれた。そのやさしさと居心地の良さに、思わず涙が出そうになつてしまったが、今はまだ泣かないでおこう、と、ひっそりと心の中で決めた。

「水泳は個人競技だからつまらない」と、よく友人に言われる。

しかしこれは大きな間違いなのだ、この時学ぶことができた。確かに一人で泳ぐということとは事実だが、決して独りで泳いでいるのではないのだ。むしろ仲間たちがいてくれるからこそ、一人で泳げるのだと思う。

全国大会一日目を終え、迎えた二日目のメドレーリレー。僕には大きな不安や緊張があったが、レース直前には落ち着くことができていた。この時も仲間たちの存在が大きかったように思う。落ち着けたままレースに挑んだ僕は、今までの中で最高の泳ぎをすることができた。何よりも仲間のために、その気持ちに僕が力となつていた。メドレーリレーでは僕は一泳だったのだ、あとはただみんなを信じて待つだけだった。結果は十三位だった。それでも全中予選の決勝の時の記録よりも二秒近く上げられていたし、なによりリレーメンバー全員が楽しむことができたので、僕は本当に満足だった。

こうして短くも濃かった全国大会も終わり、僕はそのまま高校の水泳部へと進んだ。その時、

僕は水泳から本当にたくさんのお話を学ぶことができたことに感じた。

悔しさは後々大きな力になること、気の持ちようが一番大事だということを知った。中でも特に学べたと思うことは、支えてくれる仲間たちの大切さだ。全国大会を決めた時に泣いて喜んでくれた先輩や、わざわざ新潟まで応援に来てくれた部活の人たちには今でも本当に感謝している。

僕は水泳が好きだ。多くの人に会わせてくれて、たくさんのお話を学ばせてくれた水泳が大好きだ。だからこそ僕は速くなれたのだろうと思う。こうして見ると、僕は本当に恵まれた水泳人生を送れている。僕はその幸せをかみしめながら、今まで思ったことを忘れることなく、これからも仲間と共に泳いでいきたい。



#### ◆四度目の関東選抜出場!!

中学男子卓球部顧問 黒川 信行

中学男子卓球部は、平成二十九年三月十一日

（十二日、栃木県の栃木市総合体育館で開催された「第二十三回関東中学校選抜卓球大会」へ出場しました。関東選抜出場は二年連続で通算四度目、夏の関東を含めて、関東大会出場は団体では六度目（個人を含めると八度目）となります。

予選リーグは、長坂中（山梨）に勝利し、毛野中（栃木県）に負け、最後の厚木中（神奈川県）に五番手までもつれる接戦の末に負けて、四校中三位となり、上位トーナメントに僅差で上がれず、三位トーナメント進出となりました。拮抗する試合の連続で、関東のレベルの高さを目の当たりにし、更に関東上位校の迫力ある試合に触れ、毎年のことですが、未熟さを感じながら、多くの課題を得て、栃木を後にしました。

今年のチームは、当初は関東どころか、習志野市内すら勝てないのではないかと言われていました。彼らが一年生の時に体育館の耐震補強工事があり、七月から年末までセミナー館の教室で練習する日々でした。基礎作りの大事な時期が、卓球台を二台出すのがやつの教室での練習となり、別教室で練習する先輩の姿を見ることも難しく、上達の鈍さは否めませんでした。それに加えてメンタルが弱く、練習試合に出ても、どの選手も競るとミスし始め、同じミスを繰り返して負けるという試合の連続でした。

しかし、卓球は好きらしく、十人という例年よりも少ない人数の学年でしたが、皆休まずに練習に参加し、卓球に関する色々な事柄に興味を持つ選手たちでした。我々顧問は、増野隆泉先生や高橋唯樹先生らとの連携で、卓球技術のみならず、取り組む姿勢や普段の生活まで、気になったことは指摘し、時には叱り、最後は自分たちで考えて答えを出すような流れをつくり、彼らもその期待に応えるようになってくれました。

習志野市の一年生大会では、歴史的な大敗だっ

た彼らでしたが、新チームとしてデビューした中二の夏から計画的に休みの日を入れながらも、日曜日はほぼ毎週オープン大会が練習会に参加し、実践力をつけました。彼らに度々言ったことは「選手として自立すること」。次第に、自分のプレーに責任を持って試合をするように、彼らは成長していきました。

十一月に行われた習志野市の新人戦が一つの山でした。クラブチーム所属選手が複数いる習志野七中は、千葉県の上位に食い込むのではと噂されるチームで、七中を倒さない限り、優勝はありませんでした。新人戦最終戦で無敗同士の東邦―七中戦。二勝二敗で五番手勝負となった試合で、キャプテンの柳が0―2の劣勢から追い上げ、最終的に3―2で相手を下し、ギリギリの優勝を勝ち取りました。

千葉県大会も全ての試合がギリギリの勝利で、最終的に千葉県四位という結果の快進撃を見せ、関東選抜出場を勝ち取りました。

階段を一步一步上がるように、経験を積みながら力を蓄えていった結果です。彼らも先輩たちと同じく、途中であきらめなかったからこそ成し遂げた成果だったと言えると思います。

そして、今回も多くの人たちに支えられ、チームの力を育むことができたことは忘れられません。まず一つは、平成二十一年に本校卓球部初の関東大会出場チームの選手たちが、度々彼らをレクチャーしてくれたことが挙げられます。ちょうどその代は今年で二十三歳。昨年度教育実習で本校に来た早川君たちのほか、合宿に参加してくれた、大学でも卓球を続けていた藤川君、蔵元君など、多くの年の離れた先輩らと触れ合えたことは、良い経験だったと思います。また、都内の砧中、春江中、桐朋中、深川七中、千葉県準優勝校の常盤平中など、多くの強豪実力校に練習会に呼んで頂き、そのおかげで力を伸ばしたことは確実です。そして、例年以上に

保護者の厚い協力を頂いたことは、特筆すべき事柄です。関東大会に来て頂いた保護者の応援人数は過去最高の二桁で、送迎や宿泊等に関して多大な協力も頂き、ひたすら感謝です。

そして、最後になりますが、長年の要望であった「応援幕」を増野先生が中心になって作製し、関東大会の会場を飾りました。これは、同窓会アワードを活用させて頂いたお陰で作製することができ、大変有難く思っています。「応援幕」には、スクールカラーのブルーを基調に「東邦PRIDE」という文言を考えました。基本的に忠実で、地道な努力を重ねることで発揮される、誠実で、最後まで諦めない卓球を念頭に考えた言葉です。文字は、書道の小林健一先生にお願いし、書いて頂いた何十枚ものパターンから選ばせて頂いたもので、完成品を見たときは、部員・顧問一同大感激でした。

何をプライドとするかは、今後その時のメンバーによって変わってくると思います。しかし、東邦としてのプライドは常に持ち続け、常に前に進むチームであってほしいと、顧問として願っています。

◆関東大会への道のり

中学卓球部キャプテン三年 柳 智 瀬

関東選抜に出場できたのは、習志野市の新人戦で優勝することができたからだと思う。僕たちが一年生の時の市内一年生大会は、シングルスでベスト十六に入ったのは東邦では一人だけという悲惨な結果だった。先輩からも「団体で県に出れるかどうか分からないね」と言われていた。そんな僕たちが力をつけ始めたのは、二年生の夏だった。色々な大会に出ては負けて、弱点を見つけて練習し、また大会に出るといって繰り返した。小さな努力をコツコツ積み上

げた感じだった。でも、その結果、初めての市内大会団体戦は、最後までもつれこんだ接戦の末、僅かな差で優勝を獲得した。考査と重なった千葉県大会では、応援が少ない中、チームの団結力と気持ちで見事ベスト四に入ることができた。市内大会で優勝したからこそ、自信をもって県大会に挑むことができた。塵も積もれば山となる。まさにこの言葉が僕たちのチームにはピッタリだと思う。人生で一番役に立つことを、卓球部で学んだ。また、夏の総体に向けて、気持ちを入れ替えて練習に励んでいきたい。総体でもまた、あの舞台に立ちたい。



## 2017 東邦大学附属東邦中学校・高等学校 学校見学会・学校説明会・入試説明会日程

### ■学校見学会・説明会（どなたでも参加できます）

日程			予約開始日
2017 年	4 月	22 日	3 月 1 日
	5 月	6 日・20 日・27 日	4 月 1 日
	6 月	3 日	5 月 1 日
	7 月	1 日・5 日・22 日・29 日	6 月 1 日
	8 月	19 日・26 日	7 月 1 日
	9 月	9 日	8 月 1 日
	10 月	14 日・28 日	9 月 1 日
	11 月	4 日・11 日・18 日	10 月 1 日

夏休みに授業・部活動の「体験見学会」を追加で実施します。

10:00 集合  
10:00～11:40 「学校見学ツアー」  
11:00～12:00 「学校説明会」

### ■ナイト見学会（どなたでも参加できます）

日程	予約開始日
4 月 28 日	3 月 1 日
6 月 29 日	5 月 1 日
9 月 22 日	8 月 1 日
11 月 2 日	10 月 1 日

18:30 集合  
18:30～19:30 「ナイト見学ツアー」  
(所要 40 分:小グループに分かれて出発)  
※ カフェテリアの営業なし。  
終了後、個別質問タイムを設けます。



### ■入試説明会

- ・中学校入試説明会  
10 月 18 日 (水) 14:00～15:10  
10 月 19 日 (木) 14:00～15:10  
予約受付開始 9 月 1 日
- ・高校入試説明会 (帰国生入試)  
10 月 28 日 (土) 14:00～15:10  
予約受付開始 9 月 1 日



2017 年 银杏祭 (文化祭) ※ 予約不要  
9 月 16 日 (土) 9 月 17 日 (日)  
・ 広報部主催 「入試相談会」  
・ 生徒会主催 「東邦ツアーズ」

HP から全てのお申し込みができます  
TEL 047-472-8191 (代表)  
<http://www.tohojh.toho-u.ac.jp>

平成二十九年 度

大学入試結果報告



進路指導部 広瀬 信也

大学入試センター試験

平成二十九年年度の大学入試センター試験（以下、センター試験）は、一月十四日・十五日に、全国六九一の会場で実施された。今年度は、新学習指導要領に対応した二年目の出題となった。

新課程へ移行した二年目ということもあり、今年度のセンター試験で大きく傾向が変わることはなかったが、新テスト移行に向けた傾向の変化もあった。現在審議検討中の「大学入学者希望者学力評価テスト（仮称）」の趣旨は、思考力、判断力、論理的思考力を評価することである。今回のセンター試験においても、例えば、「数学Ⅰ・A」で二つの分野の融合問題が出題されたり、地歴Bの各科目では、グラフや図表や統計資料などの読み取りが必要な問題が出題された。このように、単に知識だけではなく思考力を要する設問が増えてきている。

本校の出願者数は、在籍三六九名中三五七名だった。受験会場は、昨年度と異なり、東邦大学（習志野キャンパス）・千葉工業大学（津田沼キャンパス）・日本大学生産工学部（津田沼キャンパス）となった。

どの科目も全国平均点の変動とほぼ同様であったが、「国語」「英語」「数学」は、それぞれ例年以上の好結果となった。その結果、九〇〇点満点の平均点は、昨年度より、理系では十三点、文系では四五点のアップとなった。

難関国公立大学合格の目安となる成績上位層の状況は、昨年度より、理系で八〇〇点以上が二人、七〇〇点以上が八人増加した。文系は、八〇〇点以上が三人、七〇〇点以上が四人増えた。これは、全国的な動向とほぼ同じ状況であった。

国公立大学志願状況

国公立大学の志願者総数は、前年から引き続き減少し、六年連続減少となった。センター試験の志願者数は増加したが、国公立大学の志願者数はわずかに減少した。その要因としていくつかが考えられる。一つは、「文高理低」傾向の継続である。大学生の就職状況の好転とともに理系理科の負担増から、文理選択の段階で文系を選択した受験生が多くなった。国公立大学の文理別の募集人数は文系よりも理系の方が多く、理系受験者の減少がそのまま志願者数の減少につながったようである。二つめは、

センター試験の九〇〇点満点の平均点（予想）が文系は前年度より九点上がったのに対し、理系は二点下がった。この結果、理系受験生の中には、国公立大学への出願を取りやめた層も出たようだ。そして、三つめは、難関国公立大学の後期日程廃止がさらに拡大したためであろう。前年度の東京大学の後期日程廃止に続き、平成二十九年入試では大阪大学も後期を廃止した。難関国公立大学志願者は後期の併願先が見つけられず、難関私立大学への出願を増やすという対応を迫られたようだ。

私立大学志願状況

志願者がやや減少した国公立大学とは対照的に、私立大学の志願者は、前年度よりさらに増加し、十一年連続で増加となった。その要因として、受験人口の増加、学部の新設や改組、入試方式のさらなる複雑化及び多様化、併願時の受験料割引やインターネット出願の拡大、文系人気の継続、入学定員管理の厳格化に伴う合格者数の絞り込みなどが考えられる。特に、入学定員の厳格化により、私立大学は合格者数を昨年度より減らしており、受験生は併願校を増やすことでこれに対応しようとした。

系統別では、前年度以上の「文高理低」となった。文系の系統は全て増加しているが、特に国際関係、社会、経済・経営・商の大幅増が目立った。理系では、工学系の農・水産、情報工、建築・土木が大幅増加しているのに対し、化学系が大きく減少した。医は、微増したが、これは新設の国際医療福祉大学を除くと、微減となる。歯、薬は、前年度に引き続き減少した。

本校の入試結果

本年の総合合格者数は、前年度比一〇四・九%となった。学部系統別で見ると、文系が、文・人文・外国語系統を除き平成二十八年年度より増となった。しかし、平成二十七年年度の合格者数を回復するまでにはいたらなかった。難関私立大学の多くが入学定員の厳格化に伴う、合格者の絞り込みを行ったことと、全国的な文系人気の回復傾向のため、文系の生徒にとっては、厳しい結果となった。

一方、理系人気はやや落ち着いてきた傾向に向かっているが、本校生徒が進学を希望する理系のレベルはかなり高い水準のまま推移している。そのような状況の中で、医・歯・薬・看護系の合格者数は昨年度より微増し、工・農・水産・海洋系では昨年度を大きく上回り、理系全体としては、合格者数は、昨年度より増加した。難関国公立大学の合格者数は、東京大学の合格者数がやや振るわなかったが、総数としては前年度とほぼ同じであり、国公立大学医学部の数も例年並みとなった。私立大学の合格者数は、文系の生徒が苦戦した早稲田大学や慶応大学では昨年度から微減となったが、医学部の合格者数は過去五年間で最も多く、医歯薬獣医系を志望した生徒の健闘が光った。

【表 1】 過去 3 カ年間のセンター試験平均点

Table with columns for Year (年度), Subject (科目), and Score (平均点). Rows are categorized by year (27, 28, 29) and include '本校' (Our School), '全国' (National), and '差' (Difference) for each subject: 国語, 数学 (I, II), 英語筆記, リスニング, 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 物理, 化学, 生物, 日本史 B, 世界史 B, 地理 B, 倫理, 政治経済, 倫理・政経.

【表 2 平成 29 年度主な大学合格者数一覧】

私立大学				国立大学				国公立大学等							
大学名	合格者数	学部名	内訳数	大学名	合格者数	学部名	内訳数	大学名	合格者数	学部名	内訳数				
東京薬科	4	薬	1	立命館	9	法	1	東京医科	6	医	6				
東京理科	158	生命科学	3			経済	2	東京慈恵会医科	4	医	4	現代教養	9		
		経営	12			産業社会	3	東京女子	9	医	1	東京女子医科	1	医	1
		理	25			理工	1	東京電機	17	生命科学	2	理工	9	理工	3
		理二	1		農食環境	2	未来科学			1	システム	4	国際食料	1	
		工	28		獣医	1	地域環境			1	農	1	生物産業	2	
		理工	70		岩手医科	1	成田看護			1	応用生物	9	生命科学	2	
		基礎工	5		東北薬科	2	自治医科			1	帝京平成	3	東京薬科	3	東京薬科
薬	17	国際医療福祉	10		城西国際	1	東京歯科	2	文	4	法	2			
理	21	獨協医科	2		帝京平成	3	薬	3	法	2	国際政経	1			
東邦	56	薬	14	東京歯科	2	南	2	法	2	経済	1				
東洋	15	健康科学	2	立命館	9	文	4	経済	2	経済	2				
		文	4	立命館	9	法	2	経済	2	経営	2				
		経済	5	立命館	9	国際政経	1	経営	2	経営	2				
		経営	2	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		国際	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		理工	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		生命科学	2	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		法	6	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		経済	7	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		文	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
日本	57	生産工	5	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		理工	17	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		医	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		松戸歯	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		薬	3	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		生物資源	3	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		芸術	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		医	8	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		獣医	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		文	3	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
人間社会	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
理	2	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
家政	2	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
看護	2	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
文	7	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
法	3	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
経済	8	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
経営	5	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
社会	2	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
人間環境	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
情報科学	3	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
キャリア	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
デザイン	10	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
理工	11	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
生命科学	7	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
星薬科	16	薬	16	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
武蔵野	5	経済	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		教育	2	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
武蔵野美術	1	造形	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
明治	67	文	5	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		法	8	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		政治経済	15	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		経営	7	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		商	3	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		情報コミ	5	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		総合数理	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		理工	18	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		農	5	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		文	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
心理	3	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
法	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
経済	3	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
社会	2	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
明治薬科	2	薬	2	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
立教	25	現代心理	4	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		法	3	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		経済	5	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		社会	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		社会	4	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
コミュニ	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
理	7	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
文	2	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
文化構想	4	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
法	3	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
政治経済	3	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
商	6	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
社会科学	3	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
教育	10	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
人間科学	4	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
国際教養	3	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
基幹理工	6	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
創造理工	12	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
先進理工	13	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2						
麻布	1	獣医	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
神奈川	1	理	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
聖マリアンナ医科	3	医	3	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
同志社	6	文化情報	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
		理工	4	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				
生命医科	1	生命医科	1	立命館	9	経済	2	経営	2	経営	2				

# 新入会員を迎えて

同窓会は、この三月、三六九名の新しい仲間を迎えました。  
新会員の希望に燃えたメッセージを紹介します。

**若** 葉が初夏の日ざしにまぶしく輝く季節となりました。私たち第六十三期生三六九名は、この春に東邦高校を卒業し、同窓会の新メンバーとして加えていただくことになりました。よろしくお願ひします。

大学に入学してはや二ヶ月。新しい生活環境や課題に対するレポートの作成にも徐々に慣れ、サークル活動にも参加し、新しい仲間と出会う、毎日充実した生活を送っています。

さて、私は高校在学中に建学理念である『自然・生命・人間』のうち、『どんな境遇にある者も生き甲斐のある生き方しなければならぬ』真に生き甲斐のある生き方をしてこそはじめて生きることに意味があるのだ(三十三)という言葉が心に響きました。そして、この教えを習うために真の生き甲斐とは何か、と考えていました。そこに大学から配布された図書の中にヒントが見つかった気がしたのでご紹介したいと思います。

みなさんは「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」という言葉を聞いたことはあるでしょうか。これは福沢諭吉の『学問のすずめ』に書かれた名言です。人は皆平等である。それを伝えると有名な言葉です。しかし本当に福沢諭吉が言いたいことを知っている人は少ないのではないのでしょうか。あの名言の続きには実は「言えり」という言葉が続くのです。言えりと言われている、つまり福沢諭吉はこの世界はすべての人は同等で平等なのだ！と言っているのではなく、すべての人間が上下ないと言われている…

けれども、その先に本当に言いたいことがあるのです。「人は生まれながらにして貴賤・貧富の別なし。ただ学問を勤めて物事をよく知る者は貴人となり富人となり、無学なる者は貧人となり下人となるなり。」要するに福沢諭吉は生まれたとき人は皆平等である。けれどもその先の人生では異なってくる。その差は学問にあり！これが本当に伝えたいことだったので。そして自分がお金持ちになるため、偉くなるために学問の力を借りるのではなく、まずは他人を頼ることなく自身で自立し、そして他人が自立できるように支え、最終的には国として自立することが大切だと言っているのです。これを他人の意見に流されずに自分で決定することができる人間になると言われれば少し感じる部分があると思います。どうして自分が勉強しているのかわからない、勉強内容が難しく嫌になる、そんな気持ちになった時に額田先生と福沢諭吉の考えを思い出し、人生を有意義にしていきたいと思えます。Dream come true!!!

六十三期生 中尾 悠希

## 同期会活動への補助について

今回の同窓会総会・懇親会に同期で揃ってご参加いただける方には以下の補助をいたします。

- ・同期 10 名以上で参加…2 万円補助
- ・同期 20 名以上で参加…3 万円補助

(詳細については同窓会事務局に問い合わせてください。)



## 会場案内

### ◆同窓会総会・懇親会◆

日時 平成二十九年七月九日(日)

十五時 総会開会

十六時 懇親会開会

会場 ホテル「ザ・マンハッタン」 幕張新都心

(二階 ルーナ/プリマベール)  
〇四三(二七五)一一一一(代表)